

平成21年度

ひょうごボランティア基金  
助成事業報告書

ひょうごボランティアプラザ  
(兵庫県社会福祉協議会)

平成22年12月

## は し が き

ひょうごボランティアプラザでは、平成14年6月のオープン以来、成熟した市民社会の構築に向け、参画と協働による「新しい公」の担い手づくりをミッションとして、様々な取り組みを進めています。そして、その一環として、幅広い分野のボランティア活動の自立性と継続性を高めることを基本に、多岐にわたる助成事業を展開しています。

具体的には、草の根的なボランティアグループを支援する県民ボランティア活動助成をはじめ、NPO法人等を対象とする立ち上げ支援助成や活動基盤の強化を図るパワーアップ事業助成、さらには行政・NPO協働事業助成や企業・NPO協働奨励事業など、個々のニーズに見合った多様な助成を行っています。

また、事業ごとの1件あたりの助成額で区分すると、3万円以内の小口助成、30万円までの中規模助成、100万円規模の大口助成の大きく三つに分けることができます。ボランティア活動の全県的支援拠点として、活動規模に応じたきめ細かな支援に努めているところです。

本報告書は、このうち平成21年度の主として大口の助成分について、それぞれの団体から提出いただいた活動報告をまとめたものです。団体ごとに事業概要や良かったこと、苦労したこと等が掲載されていますので、助成金を活用して事業に取り組まれる際の参考としていただければ幸いです。

最後になりましたが、本年4月に小森星児前所長からバトンを引き継ぎ、8か月が経過しました。この間、選考委員会による申請団体へのヒアリングに立ち会い、各団体の事業にかける真摯な思いに触れることで、ボランティア活動の裾野の広がりを改めて実感いたしました。大変心強く感じるとともに、先駆的な県民活動がますます活発に展開されていくことを期待しています。今後も引き続き、各団体にとってはさらに使いやすく、また県民の皆様からはより一層信頼される助成事業にしていきたいと思いますと考えておりますので、ご支援の程よろしくお願いたします。

平成22年12月

ひょうごボランティアプラザ  
所長 室 崎 益 輝

## 目 次

I	ひょうごボランティア基金活動助成	1
II	平成21年度ひょうごボランティア基金助成事業概要	2
III	平成21年度助成事業 助成金交付団体等一覧	3
IV	平成21年度助成事業報告	
1	チャレンジ事業助成	
	第2年次	5
	第1年次	11
2	行政・NPO協働事業助成（NPO提案型 第3年次）	23
3	中間支援活動助成	37
4	企業・NPO協働奨励事業	51
V	平成21年度県民ボランティア活動助成金エントリー受理 及び交付決定一覧表	52
VI	ひょうごボランティア基金 過去の助成金交付実績 (平成14～20年度)	53

## ひょうごボランティア基金活動助成

当基金による活動助成制度は、21世紀の成熟社会の重要な担い手であるボランティアグループ・団体、NPO等が行う多岐にわたる幅広い分野のボランティア活動の「自立性」と「継続性」を高めることを基本として、活動基盤の強化（キャパシティ・ビルディング）をめざし、県民ボランティア活動の促進を図ることを目的としています。

### < 5 つ の 特 徴 >

- 1 助成総額が1億4千万円
- 2 活動対象がNPO法の定める17分野
- 3 活動段階に応じたメニュー設定
- 4 申請（助成）団体にとって使い易い枠組み
- 5 助成制度決定までのプロセスの共有

「ひょうごボランティア基金」は、21世紀の成熟社会の重要な担い手であるボランティアグループ・団体、NPO等が行う福祉、環境、国際交流、芸術等幅広い分野の県民ボランティア活動の促進や、児童福祉施設入所児童及び交通遺児の激励など、地域福祉の向上を図ることを目的として、2002年4月に創設された基金です。

平成21年度 ひょうごボランティア基金助成事業概要

区 分		目 的	助成額 (予算額) (千円)	申請状況・採択率
V G 支 援	県民ボランティア活動 助成	福祉、まちづくり、文化・芸術、環境、地域安全、国 際交流、子どもの健全育成等NPO法17分野のボラン タリー活動に助成し、団体の自立支援を促す。 上限3万円(1/2助成) 21年度 28,000円	95,900 (90,000)	交付件数：3,425件
	ボランティア活動支援拠 点・NPO協働事業 助成	地域のボランティア活動支援拠点とボランティアグル ープ・NPO法人等の連携・協働を支援し、地域課題 の解決を図る。 1事業 30～90万円	0 (1,500)	申請件数：1件 採択件数：0件
	学生ボランティア活動助 成	学生ボランティア活動の理解と参加の促進を図る。 学生を対象とした入門、体験・交流事業、ボランティ アコーディネーター、相談、情報発信、大学間のネット ワーク作りに係る事業 上限5万円	400 (400)	申請件数：12件 採択件数：10件 倍率：1.2倍 (2件辞退)
N P O 法 人 等 の 基 盤 強 化	立ち上げ支援助成	NPO法人等の立ち上げを支援し、NPO活動の促進 を図る。 ① 事務所借り上げ ② 公共スペース活用 上限30万円(1/2助成)	2,493 (2,100)	1年次 申請件数：10件 採択件数：8件 倍率：1.3倍
	チャレンジ事業助成	地域課題の解決のための広域性の高い活動や斬新な活 動の拡大、発展を図る。 ① 新規事業 上限100万円 ② 既存事業 上限50万円	8,600 (12,000)	1年次 申請件数：22件 採択件数：8件 倍率：2.8倍 (2件辞退)
	NPOパワーアップ 事業助成	NPOの活動基盤を強化する。(①ITによる情報公開 ②定期機関紙の発行③普及啓発事業④研修会等への参 加⑤団体の体制整備のうち3項目) 15万円(3項目達成必要)	750 (2,400)	5件
	インターン助成	海外及び国内の先進事例、現状の調査研究を支援する。 海外：上限30万円 国内：上限15万円	0 (1,000)	
他 セ ク タ ー と の 協 働	行政・NPO協働事業 助成(NPO提案型)	行政とNPOの協働推進のため、NPOの企画の事業 化を支援する。 1年次(企画) 上限30万円 2年次(事業計画) 上限60万円 3年次(事業実施) 上限100万円	9,948 (13,100)	1年次 申請件数：6件 採択件数：6件 倍率：1.0倍
	行政・NPO協働事業 助成(行政提案型)	団塊の世代を対象とした行政からの提案について、N POとの協働により実施する。 1事業 上限50万円	3,000 (3,000)	申請件数：7件 採択件数：6件 倍率：1.2倍
	企業・NPO協働奨励 事業	企業とNPOの協働を奨励する。 30～50万円	300 (2,500)	申請件数：1件 採択件数：1件 倍率：1.0倍
中 間 支 援	中間支援活動助成	中間支援機能を有するNPO法人が、相談、ネットワ ーク、情報提供等の中間支援機能を発揮して、県内の NPO法人等の組織運営や活動を支援する取り組みを 支援する。 ① 中間支援活動の拡充 上限100万円 ② インキュベーター整備 上限30万円(1/2助成)	7,000 (10,000)	申請件数：7件 採択件数：7件 倍率：1.0倍
特 定 課 題	震災15周年復興発信等 事業助成	阪神・淡路大震災から15周年を迎え、震災の教訓を 後世に伝える取り組みや、復興の過程で培った貴重な ノウハウの発信など、震災の経験を風化させないため の取り組みを支援する。 1事業 50万円以上	1,442 (1,500)	申請件数：3件 採択件数：2件 倍率：1.5倍
	緊急課題対応助成	① 台風9号佐用町水害復旧支援活動「子どもたちのた めの余島クリスマスキャンプ」事業 ② 台風9号災害ボランティア活動体験発信事業	450 (500)	2件
合 計			130,283 (140,000)	

平成21年度助成事業 助成金交付団体等一覧

(単位：千円)

□ ボランティア活動支援拠点・NPO協働事業助成

助成団体名 (ボランティア活動支援拠点協働先)	助成事業名	助成額
該当なし		0
申請件数 1件 採択件数 0件		

□ 学生ボランティア活動助成

助成団体名	助成事業名	助成額
1 でいんぶる	今どき学生のちょこっとボランティア推進プロジェクト	50
2 関西学院上ヶ原ハピタット	ちゃりんこプレゼン2009	50
3 神戸大学総合ボランティアセンター	学生ボランティアの推進と地域社会のニーズへの対応	50
4 FourLeaves	アースキッズ インディアン キャンプ	50
5 OAA学生ボランティアグループ	新メンバー勧誘キャンプ	50
6 関西学院ヒューマンサービスセンター	「命を伝える」～阪神・淡路大震災から15年目を迎えて～ (NHK震災ドキュメントの上映会)	50
7 NPOウイズネイチャー学生部	ホッパーズクラブ～プログラム企画・実施・振り返り～	50
8 棚田LOVER's SEED	学生の農・食の関心を高め、ボランティア活動促進事業 農学カフェnext ～実践から挑戦へ～	50
合計		400
申請件数 12件 採択件数 10件 倍率 1.2倍 (うち2件採択後、辞退)		

□ 立ち上げ支援助成

3年次(19年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 (特)わだち	事務所家賃助成	63
平成19年度(第1年次) 申請件数 7件 採択件数 6件 倍率 1.2倍 平成20年度(第2年次) 申請件数 5件 採択件数 5件 倍率 1.0倍 (1件は2年次申請辞退) 平成21年度(第3年次) 申請件数 1件 採択件数 1件 倍率 1.0倍		

2年次(20年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 (特)メリーポピンズの会	事務所家賃助成	150
平成20年度(第1年次) 申請件数 3件 採択件数 2件(1件辞退) 倍率 1.5倍 平成21年度(第2年次) 申請件数 1件 採択件数 1件 倍率 1.0倍		

1年次(21年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 (特)子どもコミュニティケア	事務所家賃助成	300
2 (特)びかびかクラブ	〃	240
3 (特)シャクナゲ・子供の家	〃	300
4 (特)みっくす	〃	300
5 (特)みのり赤穂	〃	300
6 (特)コミュニティリンク	〃	240
7 (特)花咲	〃	300
8 (特)室内合奏団 THE STRINGS	〃	300
合計	〃	2,280
申請件数 10件 採択件数 8件 倍率 1.3倍		

□ チャレンジ事業助成

2年次(20年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 (特)実用日本語教育推進協会	日本語を核とした新しい形の「国際交流サロン」事業	1,000
2 (特)フルーツバスケット	兵庫県の地域限定の子育てSNSの構築事業	1,000
3 NPO法人 ベースボールスピリッツ	人も心も動く地域交流・人づくり事業	1,000
合計		3,000
平成20年度(第1年次) 申請件数 6件 採択件数 3件 倍率 2.0倍 平成21年度(第2年次) 申請件数 3件 採択件数 3件 倍率 1.0倍		

1年次(21年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 (特)市民サポートセンター明石	発達障害児支援のための人材養成と紹介事業	600
2 多文化共生センターひょうご	外国人看護師・介護士候補生の学習支援システム構築事業	1,000
3 (特)さんびいす	子育て活動や子育て支援をおこなっている団体に対する運営支援事業 「まちの子育て応援事務局」の設立	1,000
4 (特)コミュニティリンク	ICTを活用した地域情報基盤マップサイト構築事業	1,000
5 (特)生涯学習サポート兵庫	まちの子ども応援隊 ～子どもの活動カメラマンボランティア～	1,000
6 (特)場とつながりの研究センター	市民の社会調査を支援する体制づくり事業	1,000
合計		5,600
申請件数 22件 採択件数 8件 倍率 2.8倍 (うち2件採択後、辞退)		

□ インターン助成

助成者の所属団体 役職	受入先	助成額
該当なし		0
申請件数 1件 採択件数 0件		

□ 行政・NPO協働事業助成（NPO提案型）

3年次（19年度採択）

助成団体名	助成事業名	助成額
1 (特)ひょうご地域防災サポート隊	地域コミュニティの防災力向上に関する事業	1,000
2 (特)姫路市介護サービス第三者評価機構	姫路市・介護サービス改善協議会の設立と運営	800
3 (特)びっぴ	NPO、認可外保育施設、行政の連携による発達支援ネットワークと地域における親子支援体制づくり事業	1,000
4 (特)ブレンヒューマニティー	地域課題解決のための学生による政策提言事業「ひょうご未来塾」	1,000
5 (特)宝塚NPOセンター	兵庫県・わかもの就労支援ネットワーク構築事業	1,000
6 (特)市民事務局かわにし	～NPOと行政で取り組む～ 川西市におけるNPO・市民活動団体の情報収集と発信のシステムづくり	1,000
7 (特)たんばぐみ	ボランティアと市民ファンドによる古民家再生事業	1,000
合計		6,800

平成19年度（第1年次） 申請件数 18件 採択件数 7件 倍率 2.6倍  
 平成20年度（第2年次） 採択件数 6件 倍率 3.0倍  
 平成21年度（第3年次） 採択件数 7件 倍率 2.6倍

2年次（20年度採択）

助成団体名	助成事業名	助成額
1 (特)さんびいす	野外活動の配信システムを活用した流域連携ネットワークの強化と参画協働の促進	600
2 (特)福祉市民ネット・川西	川西地域を「認知症の人も安心して暮らせるまちに！」運動	148
3 兵庫日本語ボランティアネットワーク	兵庫県内の企業等で働く外国人労働者およびその家族への日本語学習支援システムおよび生活支援システムの構築	600
合計		1,348

平成20年度（第1年次） 申請件数 6件 採択件数 5件 倍率 1.2倍  
 平成21年度（第2年次） 採択件数 3件 倍率 2.0倍

1年次（21年度採択）

助成団体名	助成事業名	助成額
1 (特)西宮市マンション管理組合ネットワーク	マンションのネットワークづくりと地域との架け橋事業	300
2 (特)阿久伊羅	城下町の特性を生かした青少年育成&国際化に対応できる人づくり支援の検証	300
3 (特)棚田LOVER's	学生や若者による棚田・農村の魅力発掘・担い手育成事業	300
4 (特)ブレンヒューマニティー	高校生コーチングコミュニケーションプログラム「ひょうごカタリ場」開発事業	300
5 (特)ひと・まち・あーと	龍野城下町の空き家町じゅう美術館化プロジェクト	300
6 三田演技塾	三田演技塾	300
合計		1,800

申請件数 6件 採択件数 6件 倍率 1.0倍

□ 行政・NPO協働事業助成（行政提案型）

助成団体名	助成事業名 （行政協働先）	助成額
1 (特)東灘地域助け合いネットワーク	団塊世代等地域づくり活動きっかけづくり支援事業 （企画県民部県民文化局地域協働課）	500
2 (特)阿久伊羅		500
3 (特)コムサロン21		500
4 (特)ネットワーク太子の風		500
5 (特)シンフォニー		500
6 (特)阪神高齢者・障害者支援ネットワーク		500
合計		3,000

申請件数 7件 採択件数 6件 倍率 1.2倍

□ 企業・NPO協働奨励事業

奨励団体名	奨励事業名	奨励額
1 (特)市民活動センター神戸	住友ゴム工業と中間支援NPOの協働によるNPO支援およびボランティア活動促進事業	300

申請件数 1件 採択件数 1件 倍率 1.0倍

□ 中間支援活動助成

助成団体名	助成事業名	助成額
1 (特)コミュニティ・サポートセンター神戸	NPO等の中期的な計画づくりに向けたアドバイザー活動（必須事業） その他の中間支援活動（選択事業）	1,000
2 (特)コムサロン21		1,000
3 (特)市民活動センター神戸		1,000
4 (特)市民事務局かわにし		1,000
5 (特)宝塚NPOセンター		1,000
6 (特)シンフォニー		1,000
7 (特)北播磨市民活動支援センター		1,000
合計		7,000

申請件数 7件 採択件数 7件 倍率 1.0倍

□ 震災15周年復興発信等事業助成

助成団体名	助成事業名	助成額
1 (特)リーフグリーン	「たかとの震災から15年（リーフグリーンからの検証）」発信事業	900
2 関西学院ヒューマンサービスセンター	「命」を伝える ― 阪神・淡路大震災から15年目を迎えて ―	542
合計		1,442

申請件数 3件 採択件数 2件 倍率 1.5倍

□ 緊急課題対応助成

助成団体名	助成事業名	助成額
1 (財)神戸YMCA	台風9号佐用町水害復旧支援活動「子どもたちのための余島クリスマスキャンプ」事業	190
2 台風9号災害のボランティア活動を伝える実行委員会	台風9号災害ボランティア活動体験発信事業	260
合計		450

申請件数 2件

合計	33,633
----	--------

## 日本語を核とした新しい形の「国際交流サロン」事業

特定非営利活動法人 実用日本語教育推進協会

### 1. 団体概要

設立年月日：2005年1月21日

「実用日本語教育推進協会（通称 THANK's）」は、長年日本語教育に携わってきた日本語教師が立ち上げた NPO 法人です。立ち上げ後、6年目を迎え、26名の NPO 会員と 52名の THANK's 会員で構成される団体となりました。ボランティアの方々にも手軽に効果的な日本語教育ができるようにと、教案などがなくても教えやすい独自の会話テキストと指導書を作成し、それらを使った「日本語の教え方講座」の開催、各地のボランティア養成講座への出張、そして、3年目を迎えた御影での「日本語サロン」の開催、などを行っています。日本語ボランティアのすそ野を広げるだけでなく、専門家ではないが教えるのが上手な「日本語の達人」＝THANK's インストラクターも育成しています。このような活動が神戸から広がっていき、草の根の国際貢献に役立つことを目指しています。

### 2. 助成事業の概要

2008年10月にスタートした「にほんご交流サロン」は、2009年度も年間を通して



月3回のペースで32回開催された。この一年で参加者の人数が増え安定してきた(表①②参照)。2年目に入り、外国人の日本語能力が着実に向上し、初級を修了する人も出てきたため、中級のレッスンも開始された。ボランティアでも教えられることを目指して作成された中級向けオリジナルテキストは、神戸在住の絵本作家による魅力的な絵を中心とし、大量の語彙と、場面に応じた的

確な日本語表現を身につけることができるものである。助成金により、2009年度までに8課分が完成し、実際にサロンで中級学習者を相手に試用が始まった。

2  
服  
装



5  
謝  
罪



### 3. 助成事業のアピールポイント・良かったこと・苦労したこと

◇ **参加者の増加** 2009年度一年間で外国人・日本人のサロン参加者は増加した。スタート当初はチラシの配布など、外国人集めに苦労したが、2年目に入ると口コミなどで自然に外国人が集まってくるようになった。外国人数が常時10名を超え、日本人数も増加すると、マンツーマンレッスンをやる場所が狭く、会場のキャパシティが問題となってきた。2009年度まで無料にしていた外国人参加料を2010年度からはお茶代として300円を集めることとしたが、参加者数は減っていない。



表① サロン参加人数	月	日本人	外国人	月	日本人	外国人
	4月	11	21	10月	9	33
	5月	6	13	11月	8	45
	6月	18	34	12月	21	34
	7月	14	28	1月	10	22
	8月	3	19	2月	16	38
	9月	5	34	3月	15	23
	2009年度年間合計			136	344	

表② サロン参加者の国籍
フィリピン・イタリア・インドネシア・韓国 マレーシア・フランス・ルーマニア・中国 ハンガリー・オーストラリア・メキシコ セルビア・イギリス・ハイチ・台湾・タイ ロシア・アルゼンチン・トルコ・アメリカ

◇中級会話テキスト（8課分）の完成

『絵で楽しく学ぶ中級会話テキスト（仮題）』は以下の8課分が完成した。

1. 病気 2. 服装 3. 忘れ物 4. どろぼう 5. 謝罪 6. 予約 7. 道案内 8. 緊急  
それぞれの課は、絵(A4)+テキスト(1頁)の学習者用と、絵(A4)+指導書(3頁)の指導者用で構成されている。

絵本作家に絵を依頼し、指導内容に合わせて修正・加筆してもらったが、絵としての魅力と日本語の練習しやすさとのバランスが難しく、たび重なる意見交換や書き直し、指導書の作り直しを必要とした。その結果、数多くの語彙を絵の中に書き込み、絵を使った具体的な指導内容を盛り込んだ、これまでにない中級会話テキストになったと自負している。

#### 4. 助成金の活用状況

助成金 100 万円は、以下の費用に充てさせていただいた。

- ◆交流サロン会場費
- ◆日本語プロ講師・コーディネーターへの講師料と交通費
- ◆教材教具の購入費用、チラシ・案内・ホームページ等の作成費
- ◆日本語教育関連参考図書購入費
- ◆企画会議等の会議費と交通費
- ◆中級テキストの絵の作成費（作家の人件費）と会議参加交通費
- ◆中級テキスト指導書作成会議参加者への謝金及び交通費

#### 5. 今後の事業計画

3年目に入ったサロンは手探りの段階をすぎ、その維持運営も安定化し始めている。参加者の増加により、会場が手狭になっていることが事業発展の最もネックとなっている点である。そのため、当団体の事務所のある「海外移住と文化の交流センター」への移転、あるいは2ヶ所での開催などを視野に入れ、検討中である。

また、サロンでのマンツーマンレッスンを利用した「日本語の達人」であるインストラクターの育成にも力を入れていきたいと考えている。

**団体名: 特定非営利活動法人 実用日本語教育推進協会(通称 THANK's)**  
 代表者: 高畑 笙子  
 所在地: 〒650-0003 神戸市中央区山本通3丁目19番8号  
 海外移住と文化の交流センター3F 活動支援室2  
 連絡先: TEL: 078-221-6530 FAX: 078-221-6531  
 E-mail: mail@npo-thanks.jp http://www.npo-thanks.jp

## 1. 団体概要

NPO法人「フルーツバスケット」は、一時保育サービス・行政からの託児委託業務を実施し、また子育て中の親のリフレッシュや心のケアも重視し、個々の家庭にあった保育サービスの提供を考えている。

活動目的は、「子育ての喜びを実感できる環境づくり」です。

## 2. 助成事業の概要

＜業内託児に向けてのニーズ調査を行う＞

- 甲南大学中里英樹教授に御指導頂き『保育園（所）などの子供関連サービスの利用状況調査』についてのアンケートを作成し、SNS利用者とNPO法人フルーツバスケット利用者や修了児の父兄にご協力頂き調査を行った。
- その結果をふまえ明石工業会にご協力頂き、明石市内にある株式会社や中小企業他を対象に「企業内託児事業」企業などを視察し、託児事業の現状の調査を行った。

＜託児事業の視察・企業にプレゼンテーションを行う＞

- 県外・県内の企業内託児や院内託児また子連れ出勤などを行っている保育団体や企業などを対象に視察・インタビューに行き託児事業の現状を知る。
- 筑波市にある「モーハウス」さんに依頼し子連れ出勤の状況を視察させていただき、話を聞くことができた。
- アンケート作成途中にSNS利用者からの紹介があり、明石市にある企業に企業内託児のプレゼンテーションをする機会もでき、そのことにより企業内託児提案書の作成につながった。

＜製本の作成を行う＞

- アンケートは専門的な方式で集計し、中里教授により分析・解説を頂き全てをまとめて製本作業を行いご協力いただいた皆さんに配布を行った。



## 3. 助成事業のアピールポイント・良かったこと・苦労したこと

### ◆ アピールポイント

2年次事業「子育て関連サービス利用状況調査」は、2つの調査からなっている。

1. 1つ目は子育て中の母親を対象とした「保育園（所）などの子育て関連サービスの利用状況調査」（以下「母親調査」と略す）、2つ目は、企業を対象とした「企業内託児に関する状況調査」（以下「企業調査」と略す）である。
2. 本調査の特徴は、調査実施主体である特定非営利活動法人「フルーツバスケット（以下FBと略す）」の活動内容と調査が密接に関連していることにあると

言える。FBは、就労していない母親が利用者の中心である定期的な一時保育を10年にわたって運営し、一方で、行政の主催するイベントの託児も受託してきた。このような実績をもとに、FBはこのような母親が再就職すると考えられる企業内託児所や合同企業託児の受託サービスの可能性を探ろうとした。

3. 今年度の調査事業は、フルーツバスケットの一時保育サービスを利用する母親たちの就労と子育て支援に関する生の声を把握するとともに、その結果を企業に提示して情報共有を図りながら、企業内託児所や合同企業託児のニーズや課題を探ろうとしたものである。
4. 母親調査によれば、4割以上の母親が、「子育てに必要なサービスがあれば、仕事を続けていましたか」という問に「強く思う」または「まあ思う」と答えている。また、企業内託児所があれば復職希望は強いこと、合同企業託児サービスの利用希望が強いこともうかがえる。

一方企業調査の結果を見ると、ほとんどの会社が企業内託児に関心は持つものの実施はしておらず、計画も1社のみであった。その背景には、費用面や安全面での不安、保育士の確保という運営の人的配置の根幹への不安があることが分かった。

安全面や保育士の確保については、FBの託児サービスの運用実績によって解消することが、ある程度可能であろう。母親側のニーズと企業の関心の高さを見ると、後は費用面での負担の問題がクリアされれば、運営に踏み出す企業が現れる可能性はある。ただし「企業内託児はやってみたが、うまくいかず違う方法の福利厚生をおこなっている」という自由回答が見られたように、想定しない問題点が見つかる可能性も高い。子連れでの通勤の大変さや、子育て期の母親の就労の難しさによって、現実に利用者が伸びないということもあるだろう。

◆ **良かったこと**

全ての結果からもともと自分たちが描いていた企業内託児事業より一歩前進した。

◆ **苦勞したこと**

アンケートの内容を考えること。

アンケートの集計が難しく大変だった。

## 4. 助成金の活用状況

- ◆ 活動報告の製本代・事業実施の経費・人件費・視察交通費・調査協力謝金

## 5. 今後の事業計画

託児保育についてのニーズ調査を生かした事業  
子育て中の母も働ける環境作り（チームジョブによる 勤務体制）

明石市子育て支援センターうおずみ フルーツバスケット ひろばを開設  
（2010年10月30日オープン）

**特定非営利活動法人 フルーツバスケット 理事長 高岸 益子**

**〒655-0035 神戸市垂水区五色山4丁目16-10**

**TEL:080-4398-4800 E-mail:yokko@the-ts.cside.com**

**<http://fbcc.boo.jp>**

## 野球を通じての青少年育成・地域交流活動

NPO 法人 ベースボールスピリッツ

### 1. 団体概要・NPO設立の趣旨

平成11年、中学生の硬式野球チームである「ドリームファイターズ(宝塚ボーイズ)」を設立。チームのキーワードは「本物」。

野球を通じて、子供たちの体力向上や技術向上のみを目的とするのではなく、健全な精神を育て生きていくうえで必要な人間形成の場のひとつであるという精神のもと活動してきた。野球というスポーツを介して幅広い世代や地域の人たちが交流を深めることにより、野球の振興と世代交流、地域への貢献を目的とし「NPO法人ベースボールスピリッツ」を設立。

平成20年度に法人化以降、全国に活動の場を展開、チームの選手が小学生への野球指導や理事長自らが講演活動等を行っている。

### 2. 事業の概要

野球はチームスポーツであり、一人ではできない。仲間と支え合い、切磋琢磨し努力する事が子供達にとって精神修練、協調精神確立の場となる。そして子供たちが野球を続けていくには家族は勿論、地域の方々、応援して下さるたくさんの方々、指導者やチームメイトの支えなくてはならない。日々野球に打ち込むなかで、人への思いやりの心、感謝の心を養うことにも重点を置いて活動してきた。

#### 「野球をもっと好きになって欲しい」・・・中学生が小学生に教える野球教室

野球をもっともっと好きになって欲しい・・・そういう純粋な思いから昨年に引き続き小学生への野球教室を開催した。合宿でお世話になっている高知・島根・岡山の他、神奈川・長野でも活動した。2年目にあたり、さらに地域の方々からの期待が大きくなり、大きな歓迎を受けた。今後は地元小学校でも開催し、地元での活動も拡げていきたい。

活動をしている宝塚の選手たちは、どうやったら教えたことが小学生に伝えられるのか、どうやったら野球を本当に好きになってもらえるのか、短い時間の中で苦悩を重ね考えて行動していた。

#### 「ボールと一緒に遊ぼう」・・・幼稚園での園児との交流

小学生との交流の他、新たに神奈川と地元の幼稚園で、ボールを使って園児たちとの交流の機会をつくっていただいた。ゲーム形式でボールを使って遊んだり肩車やおんぶなど、園児や親御さんと楽しい時間を過ごせた。

小学生よりさらに小さい幼稚園児との交流、野球を教えるというより、どうやったら園児たちが楽しくすごせるか、自分たちもさらに目線を下げて一緒に楽しむ事を考えた。

早速グローブやバットを親御さんにおねだりする姿も見られ、野球に興味をもってくれる園児もいた。

園児との触れ合い風景



#### 「憧れのスカイマークで全力プレー」・・・ベースボールスピリッツ杯を開催

合宿先の福岡・高知・島根・岡山と地元宝塚・伊丹・川西の選抜チーム、さらに広島ของทีมも1チーム増えて大会を開催した。

大会にはプロ野球選手も応援に駆けつけてくれて、選手との交流を深めてくれた。平成21年度は岡山から参加のチームが優勝し、地方チームの優勝で大変盛り上がった大会となった。プロの本拠地のフィールドに立てたことは、野球少年にとっては一生の思い出となり、更に参加チームの拡大が期待される。

### 平成21年度事業の実績

- ・中学生が教える野球教室（小学生対象 4回、中学生対象 1回 各地）
- ・幼稚園児とのふれあい野球教室（2回）
- ・会報誌の発行（2回）
- ・清掃活動（伊丹市・グラウンド周辺、合宿先各地）
- ・選手の練習場所のグラウンドの新設準備
- ・その他、理事長による講演活動は全国各地で80回を数える。

### 3. 事業のアピールポイント

#### ●アピールポイント

- ・中学生が小学生に教えるという、全国でも例がない新しい形の野球教室。小学生にとって、一番近い目標である中学生が実施することにより、より現実に近いこと。更に幼稚園児との交流も深め、子供達に夢や楽しい思い出となる時間を提供できていること。
- ・活動の拠点を兵庫以外の県外にも広げていること。また、地元の活動も拡大していること。
- ・合宿先の代表チームを兵庫に集め、プロ野球選手との交流も深め思い出づくりに貢献。
- ・大会のお手伝いを宝塚ボーイズの選手（中学生）やスタッフが積極的に務めるところ。

#### ●良かったこと

- ・野球教室は、小学生や幼稚園児が本当に喜んでくれたこと。また宝塚の選手にとっても、人に伝える事の難しさを体験でき、改めて家族や恩師の苦労や偉大さもわかったこと。
- ・合宿先の各地域の方々が大歓迎してくださり、事業の成果が確実に浸透してきていること。
- ・参加チームが増えて、大会が盛り上がってきていること。
- ・広報誌の発行や講演活動により、活動内容に賛同していただいて支援者が増えてきていること。

### 4. 助成金の活用状況

- 活動をする合宿先への選手の移動交通費。
- 活動をする合宿先への選手の滞在費。

### 5. 今後の事業計画

#### (1) 専用グラウンドの整備

- ・部員が増え手狭になってきた現在のグラウンドから、土・日・祝日利用する専用グラウンドの整備に着手した。更にチームの技術・精神の向上を目指す。
- ・グラウンドに困っている様々なチームにグラウンドを貸し出しお互いに向上していく。
- ・専用グラウンドで様々な大会を催し、支援してくださる方々のアピール活動をしていく。

#### (2) 野球を通じての社会貢献

- ・「中学生が小学生に教える野球教室」の拡大。地元の小学生に対しても機会を増やしていく。
- ・ベースボールスピリッツ杯の規模を拡大し、多くの子供たちに交流してもらう。
- ・野球の技術だけでなく、人間形成のできる指導者を育成していく。
- ・高齢者や障害者、学生のスポーツ大会を催し、宝塚ボーイズの選手、スタッフが大会を自ら主催・運営し支えていく。

- (3) 飲料メーカー2社と契約し、ベースボールスピリッツの活動内容を宣伝した、飲物のラッピング自動販売機を全国に展開していく。賛助企業からの紹介、宝塚ボーイズ父兄からの紹介、営業活動等で設置台数を増やし売上の一部を事業費にあてていく。

団体名	NPO法人 ベースボールスピリッツ
代表者	理事長 奥村 幸治
	〒665-0875 兵庫県宝塚市中筋山手7丁目1番2-104
	TEL/FAX 0797-88-2742

## 発達障害児支援のための人材養成と紹介事業

特定非営利活動法人 市民サポートセンター明石

### 1. 団体概要

「人と人、人と物、人と情報をつなぎ、それらを活かす様々な事業を行うことで、互いに助け合い、自分らしく生き続けていける社会の実現に寄与すること」を目的として、2001年より活動し、2005年にNPO法人格を取得。

2006年より発達障害関連の講座、研修を多数開催する。現在、絵画、学習、スポーツ、療育の4つの発達サポート教室を明石市内で開設、運営している。

### 2. 助成事業の概要

#### ①【小学生の子どもを持つ保護者への特別支援教育に関するアンケート調査】

#### ②【リーダー養成講座への参加】 NPO法人エッジの主催

6月26日（金） 港区赤坂小学校見学 6月27日（土） 高輪区民ホール

#### ③【学習サポーター養成講座】

7月20日（月）～11月8日（日） 全15回 30時間 受講生25名

「テーマ」・・・特別支援教育について／具体的な支援の仕方・連携のあり方／カウンセリングマインド／発達障害入門／LD疑似体験と当事者の声／人を支援すること／困った行動の理解と関わり／学校でサポートすること／学習サポーターの活動の実際 （この内、公開講座 計5回 参加延べ人数274名）

#### ④【特別研修】 8月29日（土） 「ライフサイクルに合わせた理解と対応」

田中康雄（北海道大学大学院教授） 参加者 235名

【特別研修】 10月4日（日） 参加者 午前・午後 各60名



午前 講演「港区における特別支援教育と学習支援員の成果 Part II」藤堂栄子（港区個別支援室室長／NPO法人エッジ会長）

講演「学習支援員の実際」木村綾子（港区学習支援員）

午後 講演「これからの特別支援教育～連携と地域資源の活用～」

樋口一宗（文部科学省初等中等教育局

特別支援教育課特別支援教育調査官）

パネルディスカッション

「それぞれの地域で一步前進するために」



#### ⑤【学習サポーター養成講座の実習】

●冒険ひろばあかしっこ ●姫路獨協大学・プレールーム

●あとりえ・クルレ（畑）（絵画教室）

## ⑥【モデル事業】

- ・明石市立H小学校 通常学級に在籍する1年男児(1名)のサポート  
2008年4月～2009年7月 週に3日～4日、学習サポーター4名が交代で入る。
- ・明石市立E小学校 通常学級(1年)、仲良し学級、及び取り出し授業、でサポート  
2010年1月～3月 週に4日～5日、午前中 学習サポーター4名が交代で入る。

### 3. 助成事業のアピールポイント：良かったこと・苦労したこと

東京都港区でNPO法人エッジが取り組み、大きな成果を上げている「学習支援員制度」を兵庫県で紹介し、明石市での導入を視野に入れてスタートした。一般市民を対象に、30時間というボリュームのサポーター養成講座は、当初専門家から参加人数の点で大変に心配をいただいた。ところが定員の倍以上の申込みがあり、皆さん大変熱心に学んでくださった。心ある人材の存在を、見えるようにできたことは何よりの成果であった。

学習サポーターを受け入れてくださる学校があり、そこで非常に高い評価を得たことから、22年度は明石市教育委員会から「特別支援教育サポーター」として人材紹介の依頼をいただくまでになることができた。

紆余曲折があった資金の獲得、学校へ外部から入ることのむつかしさなど苦労も多かったが、講師の方々のエールもあり、今後に希望を持って進めている。

### 4. 助成金の使途

学習サポーター養成講座、特別研修 (講師等謝金、旅費、会場費、印刷費) 85万円  
アンケート調査・実習(謝金) 12万円 一般管理費 16万円 支出合計 113万円

### 5. 今後の事業計画

今回と同様のボリュームで第2期学習サポーター養成講座を開催し、実習も実施して人材育成を行う。明石市教育委員会から「特別支援教育サポーター」としてサポート依頼をいただけるようになったので、人材紹介を行っていく。まだボランティアの域を出ていないので、収入を得られる道をさぐっていききたい。

就園・就学相談、病院・学校・職場への付き添いなど、人材は今後ますます必要とされる。支援してくださる専門家がおられるので、人材育成を継続して行い、必要とされる所へ派遣していく予定である。

特定非営利活動法人 市民サポートセンター明石

(愛称 りぼんネット) 代表理事 田坂美代子

Tel 078-927-7633 Fax 078-927-7634

〒673-0041 明石市西明石南町2-8-13

<http://www.ribonnet.com> mail: [csca@ribonnet.com](mailto:csca@ribonnet.com)

## 外国人看護師・介護士候補生の学習支援システム構築事業

多文化共生センターひょうご

### 1. 団体概要

地域に暮らすあらゆる文化背景をもつ人が理解しあい、ささえあう「多文化共生社会」の実現をめざして、直接支援や啓発などの活動を実施している。現在は、多言語による健康相談（毎週金曜日）、通訳翻訳、多言語資料作成、体験型学習イベント「多文化チャレンジ隊」などの直接支援活動および、多文化共生に関する調査研究も積極的に行っている。

### 2. 助成事業の概要

#### ◆参画者

多文化共生センターひょうごをコーディネータとし、日本語教師、在日インドネシア人協力者、外国人労働問題研究者、インドネシア語専攻の学生、受入れ医療機関の職員などの協働による。

#### ◆対象者

EPAによりインドネシア・フィリピンから来日した看護師・介護士候補生。当初介護士候補生に特化した活動を予定していたが、地域の医療機関より、受け入れた看護師候補生についても学習のフォローをしてほしいとの要請があり、看護師候補生も対象とした。

#### ◆具体的活動内容

- ・支援者によるミーティング…上記参画者とともに意見交換や支援の現状報告。
- ・ニーズ調査…アンケートと候補生からの聞き取りによる。
- ・シンポジウム…イギリスへの移住労働者を扱ったフィリピン映画「ケアギバー」の上映およびパネルディスカッション。（他団体との共催）
- ・教材作成…国家試験対応問題と、インドネシア語と漢字の対照表作成。
- ・学習会…個別対応およびグループ型での学習会。
- ・受入れ医療機関での職員研修…インドネシア人看護師候補生が就業を始めるタイミングに合わせて、インドネシアについての講義を実施。



シンポジウム（2009年12月19日）



学習会（2010年3月21日）



\*チューターシステムの運用を予定していたが、受入れ機関からの回答があまり得られず、システムとして稼働させるに至らず、個別の問題（日本語ボランティアや受入れ機関からの相談）対応にとどまった。

### 3. 助成事業のアピールポイント・よかったこと・苦労したこと

#### ◆アピールポイント

- ・これまでの外国人労働者のどの枠組みとも合致しない、EPA による外国人看護師・介護士の受け入れという新しい分野に取り組み、問題点と支援の課題を明らかにできた。

#### ◆よかったこと

- ・日本語教師をはじめ、さまざまな専門家とともに活動したことで、当団体のネットワークが広がった。特にインドネシア語話者という人材と連携できたことで、今後の他事業への展開にもプラスになった。
- ・全国で増加しつつある在日外国人の新たなキャリアパスとして、看護・福祉分野での就職という可能性を示唆できた。

#### ◆苦労したこと

- ・看護・福祉の現場では「外国人」に対する理解が進んでおらず、当事者・職場・支援者それぞれのニーズマッチングが難しかった。
- ・看護師・介護士候補生や受け入れ機関についての情報が乏しく、コンタクトをとるための時間が思いのほかかかった。
- ・常設の相談窓口を有していなかったため、生活全般の支援にまでは至らなかった。

### 4. 助成金の活用状況（主なもの）

- ・専門用語などのインドネシア語ー日本語の翻訳
- ・学習会、シンポジウムの講師およびアシスタントへの謝礼金
- ・学習会、シンポジウム会場費
- ・書籍（専門書、学習教材、インドネシア語辞典）
- ・教材作成のための事務用品

### 5. 今後の事業計画

学習用教材を開発している日本語教育専門家への情報提供、当事者の生活問題など個別の問題解決を中心にかかわっていく。また、教材開発で得られたノウハウを活かし、定住外国人向けの学習支援ツールの開発も手掛けたい。

団体名	多文化共生センターひょうご
代表者	北村広美
住所	〒658-0022 兵庫県神戸市東灘区深江南町 4-12-20-201
連絡先	078-453-7440 e-mail hyogo@tabunka.jp
URL	http://www.tabunka.jp

## 子育て活動や子育て支援をおこなっている団体に対する運営支援事業 「まちの子育て応援事務局」の設立

特定非営利活動法人 さんぴいす

### 1. 団体概要

さんぴいすは、新たな「遊びと学びの場」の創設を目的とし、「学校」「地域（コミュニティ）」「家庭」といった子どもの健全育成に深く関与する既存環境の活性化を行うとともに、子どもを見守り育てる立場にある市民及び市民活動団体の自立・成長に対しても様々な支援活動を行い、誰もが生き甲斐を持って暮らせる明るく活気にあふれた健全な市民社会の実現に寄与する事を目的に設立し活動を行っている。設立は2003年3月 その後、平成16年9月に兵庫県より法人認証を頂き今日に至る。

芦屋市に拠点を置き子どもの健全育成に関わる教育事業を柱に、子どもだけでなく、子ども達を見守り育てる市民や地域の活性化を目的に、下記の活動も行っている。

・子育て支援のためのインキュベーションセンターぷらっとの運営（カルチャースクール・事務局代行・ITサポートなどを実施）・芦屋の子育て支援情報誌「ちょこっと」の発行 隔月3,000部発行（無料配布）・携帯とインターネットに関する勉強会をはじめ各種教員、保護者に対する講習会も随時実施。

### 2. 助成事業の概要

本事業は、下記6項目を2ヵ年で完了する計画で進め、今年度は主にポータルサイトの立ち上げと事務局機能の確立をめざし、1・2・5の項目を中心に事業を進めた。

#### 1) 子育て支援団体のポータルサイトの立ち上げと更新作業

NPOと行政の子育て支援会議と連動した情報発信サイトと阪神南地域の団体紹介サイトを立ち上げ、翌年度以降は他地域の団体サイトへと情報量を増やしていく。

#### 2) 事務業務の効率化を図るためのフォーマットの整備

#### 3) 所定フォーマットにより寄せられた事務業務の代行作業

#### 4) 団体の事務担当者に対するスキル研修

#### 5) 関連情報の収集ならびに発信

※情報発信は、1のサイトならびに電子メールなどを活用したITシステムの利用と子育て支援会議の情報紙等を利用する予定。

#### 6) 子育て支援企業の開拓

### 3. 助成事業のアピールポイント・良かったこと・苦労したこと

#### 1) 地域の子育て団体の情報の収集について

当初の目標指数である阪神南地域でNPOと行政の子育て支援会議への登録団体数を17団体から3市からそれぞれ新規団体の登録を頂き目標の20団体に増やせた事は良かったと思う。

#### 2) 地域の子育て活動情報の収集

(活動情報収集用フォーマットの作成)

支援事務局への登録用とWEB掲載用の2種類を作成し、団体への配布とWEBからダウンロードが出来るようにした。実際に活用しながらより使いやすい書式に改善を続けて行きたいと思う。



3) 地域だけでなく、国や県の子育て支援に関連する情報の収集

兵庫県のNPOと行政の子育て支援会議と連携し、地域の情報だけでなく、国や県の情報もいち早く手に入れ、各団体の活動に活用してもらうよう努めた。

4) WEBやITシステム、各種広報誌などを通じた情報発信について



阪神南地域のページを最初に立ち上げ、地域の子育てサークルや支援団体の情報を掲載した。

将来的には、このページを見れば地域の子育て情報はほぼわかる。そんな地域ポータルページを目指し随時情報配信に努めていく。

<http://www.hyogo-kosodate.com/>

#### 4. 助成金の活用状況（使途）

- ・事業の周知のための広報宣伝費  
(パンフレット・チラシ制作、WEBページの更新費など)
- ・まちの子育て応援事務局の専用WEBページの制作費
- ・事務局業務専用のパソコン等備品購入費 など

#### 5. 今後の事業計画

1) 地域の子育て団体の情報の収集

阪神南地域でNPOと行政の子育て支援会議への登録団体数

21年度目標の20団体が達成されたので、22年度は30団体以上の参加を目指す

2) 地域の子育て活動情報の収集（活動情報収集用フォーマットの作成）

21年度に作成したフォーマットを活用し、更なる情報収集とフォーマットの改良を行う。

3) 地域だけでなく、国や県の子育て支援に関連する情報の収集

継続して、随時情報の収集と発信に努める

4) 上記1～3をWEB等ITシステムや各種広報誌などを通し情報発信を行う（随時）

5) 上記の情報収集・発信の継続と情報の更新システムの確立

21年度は阪神南地域の団体ページを作成したので、南地域のページの充実と他地域への展開を検討していく。合わせてメールマガジンを発行し、登録者を募集する。

6) 本事業で築き上げた事務局代行スキームを、他の地域の中間支援団体とも共有し県内全域を網羅する子育て支援ネットワークへと拡大していく。

団体名：特定非営利活動法人さんぴいす  
代表者：河口 紅  
所在地：〒659-0066 兵庫県芦屋市大槻町7-2-301  
連絡先：TEL&FAX 0797-22-8896 E-mail: info@sanps.com  
URL: <http://www.hyogo-kosodate.com/>

## ICTを活用した地域情報基盤マップサイト構築事業

特定非営利活動法人 コミュニティリンク

### 1. 団体概要

NPO や社会企業家、市民活動団体の ICT 支援をする為に、2008 年 8 月 29 日に NPO 法人を設立。兵庫県を中心に行政、中間支援と協働しながら地域活動に活用できる ICT の支援、普及啓発活動を実施している。

主な事業内容

- ・ 地域情報整備事業（宝塚市からの委託事業）
- ・ CHIZUBAN 事業
- ・ その他（HP 制作や、各 ICT ツールの講習会など）

### 2. 助成事業の概要

Google マップを活用し、地域情報を集約したマップサイトを構築する。地域貢献活動団体の活動場所、活動内容を地図に表示し、サイト上で PR する事により、今まで個々で発信していた

情報発信をフォローする。中間支援組織（阪神北の中間支援を中心に NPO 法人宝塚 NPO センター、NPO 法人市民事務局かわにし、NPO 法人場とつながりの研究センターを予定）、行政と連携し、地域情報マップサイト（以下、CHIZUBAN と呼ぶ）を構築・運営する。NPO 法人コミュニティリンクが



CHIZUBAN を開発・運営することで、株式会社等の営利組織が開発し、提供して終わりというのではなく、地域活動のさらなる活性化に向けてのツールとして継続的に維持・運営し、地域貢献活動団体の活動を地域住民へ広く PR する事で、地域住民が地域活動へ興味→参加→協力という仕組みを構築する。

1 年目の活動として、CHIZUBAN の開発及び阪神北エリアの中間支援を中心に CHIZUBAN の利活用のお願いと使い方の説明をしました。

以下、説明を実施した団体様

- ・ 特定非営利活動法人 場とつながりの研究センター様（個別訪問にて説明）
- ・ 特定非営利活動法人 市民事務局かわにし様（個別訪問にて説明）

- ・特定非営利活動法人 宝塚 NPO センター様（個別訪問にて説明）
- ・特定非営利活動法人 阪神 NPO センター様（きらっと☆ネットワークにて説明）

### 3. 助成事業のアピールポイント・良かったこと・苦労したこと

#### ・アピールポイント

地域活動をされている団体（NPO、自治会、まちづくり協議会）のほとんどが年配の方が多く、ICTをうまく利活用できていないところが多い。ホームページを持つにしても、作成の予算がない、自分たちでは作れない、更新が出来ない、作っても誰も見に来ないという話を聞きます。素晴らしい地域活動をされているにもかかわらず、その活動をうまくアピール出来ずにいる団体はたくさんあります。

CHIZUBAN はそういった団体みなさんの活動を1つのマップ上に集め、個々の情報発信ではなく地域単位での情報発信をすることで、地域住民に向けて地域活動をPRする事が出来ます。

#### ・良かったこと

開発費を助成金で賄えたので、開発のスピードが上がった。

関東で開催されたソーシャルビジネスメッセに出展し、県外で活躍されている地域活動団体とのネットワークが出来た。

#### ・苦労したこと

作業負荷をあまりかけずに情報発信をしてもらう為の工夫。

### 4. 助成金の活用状況（使途）

開発ソフト購入費、システム開発費及びWEBデザイン費、操作説明書作成費、市場調査及び販路開拓費

### 5. 今後の事業計画

1年目では、主に開発を重視に事業を進めてきました。2年目からはCHIZUBANにたくさんの情報を集める活動をしていきます。そしてある程度、地域の情報があつまり視聴率が上がったところで、地域のお店のPR情報を掲載できる枠の提供を開始します。

代表理事 細谷 崇

〒665-0022

宝塚市野上1-2-2 若葉荘207号室

TEL：0797-77-6006 FAX：0797-77-6006

HP：<http://www.communitylink.jp>

## まちの子ども応援隊 ～子どもの活動カメラマンボランティア～

特定非営利活動法人 生涯学習サポート兵庫

### 1. 団体概要

「あそべない子どもをあそべる子どもへ あそべない大人をあそべる大人へ」をテーマに、2003年3月設立。

体験活動やワークショップの専門家たちが、生涯学習や子育て、地域福祉活動をあらゆる形でサポートしている。兵庫県縦断プログラム「チャレンジウオーク」や無人島自給自足生活「チャレンジアイランド」、小学生低学年対象のストーリーアドベンチャーといった事業を実施している。

#### ■ 事業内容

- ① 生涯学習に関する青少年指導者の研修や次世代の青少年指導者の養成、中高齢者のいきがい活動の支援に関する事業
- ② 地域・公共団体等の主催する生涯学習行事の運営を支援する事業
- ③ 機関紙発行また、ホームページ等による生涯学習普及啓発事業
- ④ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### 2. 助成事業の概要

この事業では、①多くの高齢者が趣味として楽しんでいる“カメラ”に着目し、高齢者のカメラマンボランティアを育成する。②高齢者が子どもの活動を撮影することで、地域が三世代で子育てにかかわる仕組みを定着させる。③高齢者が自主的に活動できるような団体へと組織することで、高齢者のいきがい活動の支援を行う。これら3つの点を目標として、高齢者の趣味を社会貢献へと発展させていく。

実施した内容としては、主に播磨地域を中心に、概ね60歳以上を対象としたカメラマンボランティアを募集し、勉強会を1回、撮影会を6回、展示会を2回企画し、実施した。

勉強会ではプロカメラマン坂本忠俊氏を講師に招き、カメラの操作方法や撮影に関する技術を学び、仲間作りや子どもの活動を撮影する際の注意事項や撮影するポイントについては当団体講師の菅野将志が担当した。撮影会では、勉強会で学んだスキルを実践する場として当団体主催の子どもの体験活動を撮影対象として設定した。事前に設定したテーマに沿って子どもを撮影し、プロカメラマン講師による撮影講習会も実施した。展示会では、撮影会でカメラマンボランティアが撮影した写真約30点を展示した。撮影対象となった活動参加者の子どもや保護者はもちろん、広く一般に向けても「青少年活動」や「カメラマンボランティア」という役割を周知させる機会となった。

参加したカメラマンボランティアは同じ趣味を持った仲間と楽しみながら勉強・撮影をしていた。また、子どもを撮影するという役割を通して、子どもたちを見守り、時には声をかけて励ます姿も見られた。さらに、撮影対象となった活動参加者の子どもたちや保護者からは喜ばれる様子もあり、今後の広がりを期待するものとなった。



3月勉強会の様子



3月撮影会の様子



10月展示会の様子

### 3. 助成事業のアピールポイント・良かったこと・苦労したこと

#### ■ アピールポイント ・ 良かったこと

- 多くの高齢者が趣味にしている“カメラ”を入り口としたことで、プロカメラマンに学べる勉強会には多数のお問合せと応募があった。
- 勉強会・撮影会など活動を楽しんでいる姿があった。また、その活動が子どもの安全や様子を見守り、子どもたちの活動を広く普及する社会貢献（ボランティア）へとつながっているため、意欲的に参加している。
- 今まで団体スタッフが撮影していた写真とは違った視点と、より高度なスキルで撮影した写真となり、活動に参加した子どもや保護者の目を惹き、活動の理解を引立たせる写真となった。

#### ■ 苦労したこと

- 第1～5回撮影会では、野外活動を撮影するボランティアとして募集したものの、あまり応募がなく、まだまだ「カメラマンボランティア」という役割が広く周知されていないことと、ボランティアを入り口に高齢者が子どもの活動のスタッフとして参加することが難しいことを実感した。

### 4. 助成金の活用状況（用途）

- 講師への講師料と交通費
- 勉強会、撮影会、展示会等にかかる費用
- 事業の周知のためのチラシ作成費

### 5. 今後の事業計画

今後は活動の枠を少し広げ、勉強会テーマを「子どもを撮る」から「まちを撮る」「家族を撮る」など「子育て」だけでなく、「地域」にも焦点をあてている。講座としての事業実施予定は、勉強会5回、撮影会6回、展示会2回であるが、それ以外にも、地域団体（子育て団体・地域福祉団体・保育園・小学校・商店街など）が主催する行事の撮影も行っていく予定である。受け入れ団体・カメラマンボランティア両者より聞き取り調査をしながら、カメラマンボランティアの活動の仕組みを整えていく。

特定非営利活動法人 生涯学習サポート兵庫  
理事長 山崎清治  
〒672-8088 兵庫県姫路市飾磨区英賀西町2-15-2  
TEL . 079-230-0661 FAX . 079-230-0662  
E-mail : shosapo@iwish.jp URL : <http://shosapo.iwish.jp>

## 市民の社会調査を支援する体制づくり事業

特定非営利活動法人 場とつながりの研究センター

### 1 団体概要

当法人は、三田市まちづくり協働センター市民活動推進プラザの運営を三田市から受託運営することを目的に、関西学院大学総合政策学部の教員・学生らと、三田市民が一緒になって平成17年に設立した。

現在は、市民活動推進プラザの運営を中心とした市民活動団体・NPO支援事業と、地域情報化（地域SNSの運営など）やイベント開催などを通したまちづくり事業を2本柱として活動している。

### 2 助成事業の概要

近年、市民が社会変革を主導するために自ら社会調査を行うことが奨励されるにつれ、市民による手法を誤った調査もまた増加している。そこで、社会調査を行う市民活動団体やNPOに対する支援体制を整備、強化することで問題の解消を目指した。

我々は、スタッフに関西学院大学総合政策学部教員等、社会調査に関する専門知識を有する人員を複数抱えており、市民活動、NPO支援事業によるノウハウもあることから、市民の社会調査支援は、我々のもっとも得意な分野になりえると考えた。

具体的実施したことは、次の通り。



#### ①社会調査の支援方法探究

3団体が行う社会調査への指導・支援を通して、支援方法を探究。それぞれ質的調査、質問紙調査、訪問調査の実施を支援した。（写真は、調査前のスタッフへの研修場面（上）と、スタッフが訪問調査をしている場面（下））

#### ②小冊子制作

「社会調査ってなに？」という、社会調査の必要性や意義、また「社会調査を読む」ことの大切さを伝えるA5サイズ16ページの小冊子を作成した。

その他相談スタッフ養成の勉強会を開催したり、ボランティアコーディネータ研究会、および日本NPO学会年次大会にスタッフを派遣し現地でヒヤリングを行った。

### 3 助成事業のアピールポイント・良かったこと・苦労したこと

（アピールポイント）

冊子は当初、調査方法についての説明を中心としたA4サイズ8ページの冊子を予定していたが、社会調査の支援方法を探究した結果、まず社会調査の必要性や意義、「社会調査を読む」ことの大切さを伝えるものに変更した。また、内容をより親しみやすくするため、A5サイズとしマンガ等を加えた。結果、作成の原稿段階で意見を求めた約20人の評価では、全員から分かりやすいとのコメントを得られる内容のものが作成できた。



(良かったこと)

3 団体への指導、9 団体へのヒヤリング、4 団体からの調査実績提供により、市民活動団体による調査傾向が把握できた。具体的には、①「社会調査は関係ない」と思っている団体が多かった、②調査をするにしてもどんなデータや情報を集めればいいのか分からないでいる、ことが分かった。

(苦労したこと)

この事業を開始する前、市民活動団体・NPO の社会調査についての意見は、「やりたいけど難しそう…」というものだろうと予測していたが、実際は「調査ってなに?」「それって私たちに関係あるの?」というものだった。この結果を受けて小冊子の内容を変更し、今後の事業計画等も見直したが、この方針転換には大きなエネルギーが必要だった。

#### 4 助成金の活用状況 (使途)

助成金の 100 万円は、社会調査の支援方法探究を実施したスタッフの人件費他に 46 万円、小冊子の作成 (執筆者人件費、印刷費等) に 36 万円を支出。その他、社会調査の相談窓口としての貸出用書籍 30 冊の購入費等に充当した。

#### 5 今後の事業計画

今後の予定は次の通り。

- ① 社会調査を学ぶ定型化したプログラムパッケージとテキスト (ワークシート) を開発。作成済みの小冊子 (写真) の次のステップとして、事例に基づく演習をワークシートに記載し、自然と社会調査の手法が実につくテキストを開発。
- ② 各 NPO 支援センターの相談窓口での相談対応を円滑に行うために、「相談対応時チェックシート」を作成。

その他、セミナーの開催や、社会調査の相談窓口の開設等も行い、市民活動団体・NPO への社会調査の支援体制を確立するとともに、社会調査を行ったことで社会課題への関心を高めて活動を活発化させる団体を増やし、さらには、自身の団体のニーズ確認活動やアドボカシー活動などへの活性化につなげていきたい。



作成した小冊子

団体代表者氏名： 佐藤 等史

住 所： 三田市学園 2-1 関西学院大学総合政策学部長谷川研究室内

連絡先： (まちづくり事業部) 三田市天神 1-5-33 三田市商工会館 211 号室

Tel 079-553-2521 Fax 079-553-2522 e-mail info@batotsunagari.net

ホームページアドレス： <http://www.batotsunagari.net>

## 地域コミュニティの防災力向上に関する事業

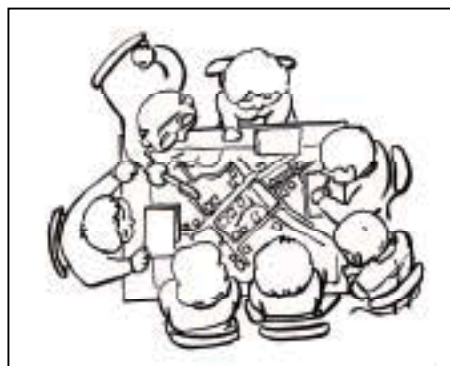
特定非営利活動法人 ひょうご地域防災サポート隊

### 1・団体概要

我が国は、東南海・南海地震などによる大震災発生の可能性が予想され、また大型の台風や集中豪雨が頻繁に発生するという状況の中にあります。万一大震災が発生した場合、その被害が大きいほど公的支援が遅れる傾向にあるのが現実です。したがって大災害に備えて、地域の人々自らが自助・互助・共助の精神による防災力向上が急がれています。そこで、私たちは、2006年1月にNPO法人「ひょうご地域防災サポート隊」を設立し、地域の人々に対して、安全安心のまちづくりの推進のため、その地域に合った防災・減災対策等についての、さまざまなサポート活動を行っています。

### 2・助成事業の概要・協働の相手方（県防災企画局他）

兵庫県の各市町自治体では、地域の防災力を高めるために、自主防災組織の育成強化を図ることで、災害に強いまちづくりを推進されています。消防白書によると、兵庫県の自主防災組織率は、全国でもトップクラスです。



しかし事業で実施したアンケート調査やヒアリング調査によると、自主防災組織の活動については、積極的に活動している組織も数多く在りますが、全体的に見ると、一部の役員や地域住民が参加するだけで、実践的な活動が期待出来る組織はそう多くないように思われ、地域による活動の格差が行政の課題ともなっているようです。そこで、自主防災組織の活性化を図るためには、地域住民が、先ず自分の地域を良く知り、そして地域の防災活動を専門的に指導し情報提供ができる「リーダー」を、地域でいかに確保することができるかだと思います。特に地震災害についてはその減災対策等も、阪神淡路大震災の被災地内外で、地震防災に対する意識の差こそ在りますが、今では時間と共に忘れ去られようとしています。そこで地域コミュニティの防災力向上について、6つの事業を提案し実施した。

#### ①地域防災指導者の育成と・登録・派遣システム(案)の提案

兵庫県ではH21年度から「防災特別推薦制度」を発足させ、県下各地域の防災力向上を推進しています。NPOとも機能分担しながら連携・協働し推進していくとした。

## ②防災マニュアル等の点検と引き継ぎ用試案の作成

多可町で防災行動計画作成をサポートし、ワークショップを踏まえてマニュアル案を作成した。

## ③防災研修等による防災知識・活動の普及啓発

数か所の地域の防災研修等で防災講座や、防災訓練会場でのブース展示と説明会など実施した。

## ④DIG等の協働作業による防災知識・活動の普及啓発

「2～3時間でできる防災マップづくり（DIG）」を数か所の地区で試行し実施した。



## ⑤住宅耐震化対策の説明・PR用パワーポイント等の作成

体験を踏まえて、「我が家の耐震診断・耐震改修工事」について、普及啓発用のパワーポイントを作成した。



## ⑥家具等の転倒防止対策

専門家による「住宅の耐震化対策技術説明会」開催や、防災減災のPRチラシを作成し、出前講座・講演会・研修会やイベントに参加した。

## 3・助成事業のアピールポイント等

3カ年の取り組みをまとめた「事業報告書」を、協力していただいた関係市町や、関係団体に配布し、今後も「地域防災力向上」に、地域と協力して取り組んでいく。

## 4・助成金の活用状況（使途）

事業の調査検討・研究、事業の試行・ワークショップ、出前講座・研修、記録誌作成にかかるボランティア謝金、印刷費、一般管理費（交通費・通信費・消耗品費）、講師・専門家謝金に活用した。

## 5・今後の事業計画

事業の成果を踏まえて、防災・減災の出前講座や、防災研修会、防災訓練の展示ブース・説明会参加など積極的に行い、地域防災力の向上に努めていきたい。

団体名 NPO 法人 「ひょうご地域防災サポート隊」 代表者 伊藤道司  
〒571-1502 揖保郡太子町原 538-170（伊藤道司方）  
TEL・fax 0792-77-3821

## 姫路市・介護サービス改善協議会の設立と運営をする事業

特定非営利活動法人 姫路市介護サービス第三者評価機構

### 1 団体概要

介護サービス利用者及びその家族等に対して、介護保険法に規定するサービスを提供する事業所及び介護保険施設に関する情報の提供等を行い、もって、介護サービスの質の改善と向上を図ることを目的として、平成11年11月より現在に至るまで、次の事業に関する活動を行ってきた。

1. 介護サービス事業所等の評価基準の作成及び見直し
2. 介護サービス事業所等の実地評価
3. 介護サービス事業所等の評価結果の情報提供
4. シンポジウム、市民フォーラム及び研究会の開催
5. 介護サービス事業従事者の研修
6. 介護サービスに関する広報啓発事業
7. 介護保険に関する調査事業
8. 介護保険に関する研究事業

### 2 助成事業の概要

姫路市との協働の仕組みを構築し、政策提言を継続的に行うためのシステムとして姫路市・介護サービス改善協議会（毎月1回開催）を開催した。

以下の通りの個別案件に取り組んできた。

1. 「末期がん等至急を要する要介護認定」至急扱いのガイドラインの策定
2. 至急扱いのフローチャートと介護保険主治医連絡票の作成と運用
3. 介護サービスと地域医療の連携促進
4. 認知症サポーター養成講座実施
5. 第1回姫路市・西播介護サービス実践発表会

平成21年7月25日（土）10時～17時30分  
於姫路市自治福祉会館

参加者202名。介護職員が主体的に口頭発表  
質疑応答を行う、学会形式の研修を実施した。



協働の相手方：姫路市市民生活局保険部介護保険課（管理担当）

### 3 助成事業のアピールポイント・良かったこと・苦労したこと

#### 1. 良かったこと

末期がんの患者が介護保険を利用できるよう、市独自の至急の要介護認定の仕組みが実現できた。

介護と医療の連携に向けた政策提言の委託が協働の精神に沿って事業化された。

実践発表会において、多数の介護サービス関係者が参加して、お互いの取り組みを紹介、交流がなされた。

認知症サポーター数が 5,000 人を突破した。

姫路市の広報（テレビ、広報誌）で取り上げられ、認知症サポーターの認知度が高まった。



## 2. 苦勞したこと

会議での提案をそれぞれ立場の異なる関係者に理解を求め、根気よく協力の必要性を働きかけたこと。

認知症サポーター講座開催時の配布資料の準備・印刷、使用機材の手配。

キャラバン・メイトへのフォローアップ。

## 4 助成金の活用状況

1. 「介護サービスと地域医療の連携促進事業」及び「末期がん等至急を要する要介護認定」に関する調査研究費
2. 介護サービス実践発表会開催費
3. 認知症サポーター養成講座、資料作成費及び開催費

## 5 今後の事業計画

1. 姫路市より、市内の医療・介護の連携の実態を把握し、交流会や研修会の実施など円滑な協働に向けた方策提言の委託事業を受託し実施している。行政と介護・医療関係者のそれぞれの意見を聞き、調整や提案を行う上でも、改善協議会の仕組みは有効であるため、継続実施していく予定である。
2. 見守り訪問員養成研修を開催し、見守り訪問員派遣事業を開始する。
3. キャラバン・メイト及び見守り訪問員のフォローアップ研修を実施する。

特定非営利活動法人 姫路市介護サービス第三者評価機構  
理事長 田中 洋三  
〒670-0955 姫路市安田三丁目1番地 姫路市自治福祉会館6階  
TEL: 079-287-3000 FAX: 079-287-3200  
E-mail: [himecare@hm.h555.net](mailto:himecare@hm.h555.net)  
URL: <http://www.hm.h555.net/~himecaredaisan/>

## NPO、認可外保育施設、行政の連携による 発達支援ネットワークと地域における親子支援体制づくり事業

特定非営利活動法人 ぴっぴ

### ① 団体概要

1995年5月に、神戸市西区西神ニュータウンにおいて代表者自宅を開放し、認可外保育所「保育ルームぴっぴ」を開所、一時保育を中心とした地域の子育て・子育ての支援をする任意団体として立ち上げ、2004年2月に、NPO法人化した。「育ち合う・支え合う」を大切に、子どもにも親にも一人一人とていねいに向き合うことに力を注いだ保育所運営のほか、地域の子育て支援団体やNPO、学校、児童館、保育所等と連携した「子どもの育つまちづくり」のための活動を行っている。

### ② 助成事業の概要・協働の相手方

【協働の相手方】神戸市西区子育て支援室

神戸市子ども家庭センター発達障害ネットワーク推進室

障害や成長発達に遅れがあって個別のケアが必要な子どもと親は、子どもの問題と育児の不安や心配、負担も大きい。また、子育て広場等の地域の活動に参加してもなじめず、親も子ども地域中で孤立しがちである。これらの親子の支援のために、早期発見・早期療育・地域での長期的・継続的な支援の実施をした。

#### (1) 保育士訪問『子どもと親の応援隊』

子どもや育児に心配・不安を持つ親からの依頼を受けて、保育士と区の保健師が応援隊となって依頼者の希望する場所（家庭や公園、幼稚園、保育所など）にアウトリーチする。子どもと遊びながら、親からの相談を受け、親のしんどさや不安を受けとめながら、子どもとの関わり方や遊び方などを具体的に指導した。



#### (2) 「おやこ保育相談室」

毎月1回、臨床心理士によって、保育ルームにおいて保育士のための相談室と親と保育士、臨床心理士がともにテーブルを囲んで子どもと子育てについて考える相談室を開いた。

#### (3) 「健やかな育ちのために」親子イベントと相談会

#### (4) 地域子育て支援者研修

### ③ 助成事業のアピールポイント・良かったこと・苦労したこと

1年次は、親を対象としたアンケートと地域の発達支援・子育て支援団体への調査を行なった。2年次は、1年次の結果をもとに、児童館や子育て支援活動を実施している団体やNPOからの依頼を受けてアウトリーチ「子どもと親の応援隊」を実施、

3年次は、親からの申し込み窓口を西区に移して、親からの申し込みを受ける形で実施し、3年次から西区の委託事業としても実施できるようになった。団体としては、これまで行政との協働事業の経験はなく子育て支援におけるしっかりとした連携のパイプも持っていなかったため、3年間の協働事業の進め方、深め方もわからず全くすべてが新しい体験であった。この事業を実施できたことで、行政からの信頼を得ることにもつながったといえる。委託事業としての「子どもと親の応援隊」は、2010年度・2011年度も引き続き継続することができ、NPOから提案し行政と協働してすすめてきた事業を、制度としてより多くの親子支援へと広げることへとつながった。

④ 助成金の活用状況(使途)

- 臨床心理士の派遣費用
- 親子イベント・研修の実施費用
- 「子どもと親の応援隊」リーフレット作成費用
- 「子どもと親の応援隊」モデルとして広めるための報告書作成費用 など



⑤ 今後の事業計画

「子どもと親の応援隊」を今後も継続して行政と連携して委託事業として実施し、他地域へも広がる活動として啓発広報もしていきたい。実施ケースの拡大や応援隊の実施状況によってアウトリーチ回数に柔軟性を持たせるなどの検討、また、実施後の個別の支援の在り方などを地域資源と連動しながら長期支援を続けられるよう個別のケースへの関わりを深めていきたい。



団体名：特定非営利活動法人 びっぴ  
 代表者：福本 良江  
 所在地：〒651-2274 兵庫県神戸市西区竹の台5-12-2  
 連絡先：TEL/FAX 078-992-1900 E-mail: [hoikuroom@mail.goo.ne.jp](mailto:hoikuroom@mail.goo.ne.jp)  
 URL: <http://hoikuroompippi.hp.infoseek.co.jp/>

## 地域課題解決のための学生による政策提言事業

特定非営利活動法人 ブレーンヒューマニティー

### 1 団体の概要

阪神・淡路大震災で被災した子ども達の支援を契機に大学生による学生主体のNPO法人として下記の青少年に関する事業を展開している。

- ・児童等を対象にしたキャンプ事業
- ・不登校児童等への支援活動
- ・高校生及び大学生を対象にした国内外のワークキャンプ事業
- ・児童等への学習支援事業

### 2 助成事業の概要

#### (1) 協働の相手方

兵庫県企画県民部政策室（ビジョン担当課長、地域担当課長）

#### (2) 助成事業の概要

若者が地域を考える機会を提供し、若者の問題解決能力・発信能力の向上を図ることを目的として、NPO法人ブレーンヒューマニティーと兵庫県との協働により、兵庫県内の小規模集落4箇所において、大学生21名が企画から関わりながら宿泊・交流・労働を行う事業（ワークキャンプ）を実施した。

#### (3) ワークキャンプの受入集落

- ・朝来市 黒川集落
- ・神河町 大川原集落
- ・篠山市 丸山集落
- ・丹波市 福田集落

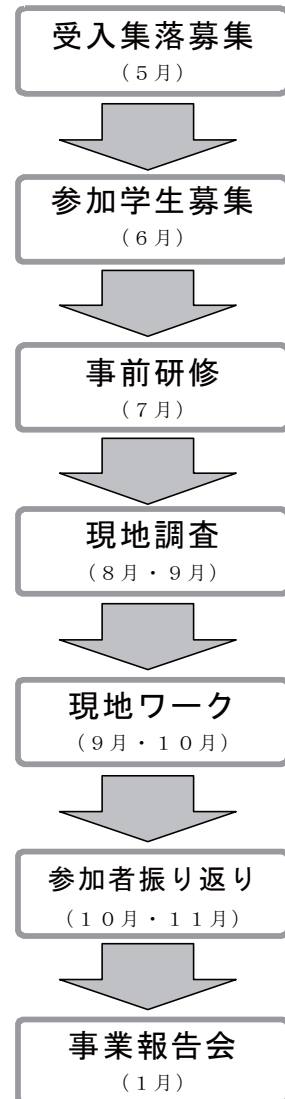
### 3 助成事業において評価できる点

#### 【ブレーンヒューマニティーにとって】

- ・直接つながりのない集落・市町行政とのつながりが、県の仲介により形成できた。
- ・県が行っている事業のひとつのように事業が展開できたことで、集落・市町行政が事業をスムーズに理解できた。
- ・県が保有する様々な集落活性化の事例や集落の現状の情報を得られたことで、各ワークキャンプの企画をスムーズに行うことができた。

#### 【参加した若者にとって】

- ・集落の現状の難しさへの気づき  
→村の主力は70代という高齢化





- ・自分の内面に関しての気づき  
→人に役立つことの喜び  
→交流を通して視野が広がった
- ・集落の素晴らしさへの気づき  
→感動するほどの自然と景色  
→集落住民同士の関係の深さや  
集落住民のあたたかさ



#### 【地域・集落にとって】

- ・マンパワー  
→学生のおかげで祭が盛り上がった  
→集落の行事で予想以上に学生が仕事をしてくれた
- ・外部との交流  
→活動的な若者と接することにより、大いに刺激をうけた  
→ワークキャンプ後も交流が継続している

#### 4 助成事業において苦労した点

事業として成り立たせつつ、学生が主体的に関与するように苦慮した。ワークキャンプの準備段階では、学生が受入集落と十分な関係性を構築できるまでの時間的猶予がなかったため、集落と受入環境などの基礎部分を事務局と県で調整したことにより、各参加学生が受け身になり、「若者の問題解決能力・発信能力の向上を図る」部分が不十分であった点は否定できない。

現在は、学生と集落の関係性が構築できているため、集落の課題に応じた内容のワークキャンプを学生自らが企画・運営できている。

#### 5 助成金の使途

- |                        |             |
|------------------------|-------------|
| ・学生による集落事前調査費用         | 約 60,000 円  |
| ・学生による集落ワークキャンプの試験実施費用 | 約 170,000 円 |
| ・報告会開催費用               | 約 220,000 円 |
| ・助成金事業実施にかかる人件費        | 約 530,000 円 |
| ・事業に係る通信代              | 60,000 円    |

#### 6 今後の事業計画

本助成事業により、ワークキャンプの手法を用いた実践活動が事業目的の達成に貢献されたことが確認できたため、助成終了後も県担当課の協働の元、本会の主催事業として計画し、下記については既に実施に至った。

#### 【集落における学生ワークキャンプの実施】

- ・対 象 高校生・大学生
- ・参加人数 各 10 人程度
- ・実施期間 2010 年夏～秋
- ・実施場所 下記の兵庫県内の集落 3 箇所
  - ◎篠山市丸山集落
  - ◎丹波市福田集落
  - ◎淡路市長沢集落

## 「関西子ども・若者支援ネットワーク構築」事業

特定非営利活動法人 宝塚NPOセンター

### ① 団体概要

「市民の手で市民活動を支える」震災を教訓に1998年設立した民間の市民活動を支援するセンター。市民参画を促進し、協働のまちづくりで新たな公のセクターの確立をめざす。主な事業－人材育成講座・市民活動啓発のための講演・NPO法人設立支援や運営相談・NPOネットワーク作り・コミュニティビジネスのコンサルタント等。

### ② 助成事業の概要

兵庫県下を中心とした京阪神地域で、若者・子ども支援を行うNPOや行政窓口を対象に、就労等に課題を抱える若者・子どもの支援機関の情報一元化・団体相互のネットワーク化を実施。

#### <実施内容>

1年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者支援のコアとなる9つの支援団体・機関に訪問調査を実施。</li> <li>・若者・子ども支援の情報を一元発信するポータルサイト「関西子ども・若者サポーターズネット」を開始</li> <li>9つの支援団体のブログをポータルでまとめ「ライフステージマップ」「テーマ別サイト」の企画・整理を実施</li> <li>・キックオフ会議の開催</li> <li>各団体の活動内容を紹介し、協働先となる行政・支援団体の交流を促進</li> </ul>
2年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web情報発信を拡充</li> <li>・学習会・交流会（計5回）の実施をしながら支援ガイドブックの発刊を準備</li> </ul>
3年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「関西子ども・若者サポーターズネット」を完成</li> <li>・支援機関・団体情報冊子「関西子ども若者支援ガイドマップ」2000部を発刊・配布</li> <li>・「関西子ども若者支援フォーラム」を開催。</li> </ul> <p>参加支援機関 28</p>

#### ■ブログポータル「関西子ども・若者サポーターズネット」について

ブロガーとしての登録団体21、サイト内ライフステージマップには兵庫県の行政を中心に、0歳児から青年期までのリスクを抱えた人がアクセスできる窓口を100以上掲載、テーマ別サイトにおいては、「自立支援」「子ども応援」「児童虐待」に分類し、40以上の支援事業所の利用できるサービス詳細情報が検索・取得できるシステムに完成させた。ポータルサイトは開設依頼3.5万アクセス、1日平均125のアクセスがあり、各団体のサイトの合計は1300件を超える。

#### ■関西子ども・若者のための支援ガイドブックおよびリーフレットについて

情報掲載団体41団体、兵庫県の行政窓口60以上、Web情報の活用方法紹介もしている。

行政窓口・支援団体・支援者等に適宜配布中。



### ③ アピールポイント、良かったことなど

「関西子ども若者支援フォーラム」では、イベント参加者は 200 人にのぼり、行政担当者、支援者、当事者など多様な立場から参加され、「子ども若者支援」の課題の大きさ、関心の高さが見てとれた。

行政担当者：兵庫県を中心に、大阪、奈良、遠くは和歌山県田辺市や京都綾部市などからも参加され、先進事例の情報収集や連携先 NPO を探すなど。

当事者：不登校や就職困難などの悩みを抱えた保護者や本人などが目立ち、自身が利用できる支援機関の情報収集を中心に出張相談会としての利用があった。

支援者：お互いのブースを行き来しながら、連携・協力の話し合いの場となり、その場でコラボ企画が決定した団体もあった。

本イベント以後、各事業所で合同学習会やイベントなどが開催されており、「子ども若者育成支援法」の推進のための「子ども・若者支援地域協議会」で、行政と NPO の協働作業が開始されるきっかけ作りの場となったと思われる。

### ④ 助成金の活用状況

ブログポータル「関西子ども・若者サポーターズネット」の作成、運営のほか、関西子ども・若者のための支援ガイドブックおよびリーフレットを作成した。そのほかアルバイトを含む人件費と交通費、イベント会場費・消耗品費等に充当された。助成金がなければ実現できない充実した事業であった。

### ⑤ 今後の事業計画

本事業はH21年度で終了したが、今後も本経験を諸事業に、より発展的に活かしていきたい。

団体名：宝塚NPOセンター	代表者：竹内浩
所在地：〒665-0845 宝塚市栄町2-1-1 リオ1-3F	
連絡先：TEL:0797-85-7766 FAX:85-7799 E-mail: <a href="mailto:zukanpo@hnpo.net">zukanpo@hnpo.net</a>	
URL: <a href="http://www.hnpo.net/n/zukanpo/">http://www.hnpo.net/n/zukanpo/</a>	

～ NPO と行政で取り組む ～

川西市における NPO・市民活動団体の情報収集と発信のシステムづくり

特定非営利活動法人 市民事務局かわにし

## 1. 団体概要

2005年4月設立の川西市に拠点を置く「中間支援」NPO法人

- ◆ 地域の市民活動団体やNPO法人の活動上のさまざまな相談への対応、活動に必要な情報の収集や提供、グループ・団体の立上げやNPO法人化のサポート、また、市民同士・団体同士や行政・企業（事業者）・大学・研究機関などとのコーディネートも実施している。
- ◆ 新しい「公共」の担い手として、いわば「まちのファシリテーター」のような活動をしている。

## 2. 助成事業の概要・協働の相手方

### 【事業の概要】

どんな団体が、どこで、どんな活動をしているのかが一目瞭然で分かり、コーディネートに必要な情報がすぐに入手できるような総合的な名簿や情報ツールの作成

### 【協働の相手方】

1年次～3年次とも川西市 企画財政部 政策室

3年次は、政策室から確認書をもらい、参画協働・相談課とも進め方について確認した。

平成22（2010）年度から、当法人が「川西市市民活動センター」「川西市男女共同参画センター」の指定管理者に決定し、情報収集と発信システムを今後も活用することとなる。

- ◆ 川西近辺に拠点を置くNPO法人や市民活動団体の活動状況を簡潔で正確に情報把握・収集し、各団体の活動活性や新規活動の立上げなどに効果的な情報発信システムを構築した。
- ◆ 企画立案過程から行政と情報共有・意見交換を積み重ねることで、新しい情報発信システムが NPO法人や市民活動団体にとっては活動活性のための「潤滑油」のような働きを、行政内では「横糸」の役割を担って、地域に潜在する人的資源の発掘や活動のモチベーションアップにつなげることを目的として実施した。
- ◆ 当域のNPO法人や市民活動団体（地縁組織も含む）が、それぞれの活動内容を簡単に、かつ、主体的・継続的に情報発信できるよう、また、その活動状況を誰もが分かりやすく「生きた情報」として入手・活用できるように、「WEBベース」と「紙ベース」のツールを用いたシステムを構築した。
- ◆ このシステムならば、情報が停滞・硬直化することはなく、また、システム自体が恒常的に進化し続けることができるのもメリットである。
  - 「WEBベース」ツールとしては…
    - ・（特）ソーシャル・デザイン・ファンド運営の地域情報発信ブログポータル「**関西えこと。mot**」を使い、サブポータルサイト「**川西まちづくりナビ**」を開設
  - 「紙ベース」ツールとしては…
    - ・「団体情報記入フォーム」を「**団体情報カード**」として集積・ファイリングして「活動団体一覧」ができるように整備

- ・それらを中間支援的なコーディネート業務をしている所に配置
- ・「WEB ベース」と「紙ベース」の融合が特徴
- ・ブログページを持つ団体は、「団体情報カード」を常時掲載でき、そのカードは誰でもダウンロードして入手できる。
- ・ブログページを持たない団体の情報も、サブポータルサイト「川西まちづくりナビ」から団体一覧にアクセスし「団体情報カード」を入手することもできる。

3年次（平成21年度）事業と役割分担			
項目	【NPO】	【行政】	市民活動団体
総合名簿づくり	PR・印刷・送付	協力（PR・印刷・送付など）	賛同・活用
団体情報カード	配布・収集・取りまとめ	PR 協力・活用	記入・活用
ブログポータル	管理・更新	市公式 WEB サイトとリンク	活用
ブログページ	講座実施	活用	開設・活用
データベース	管理・更新	活用	活用
人件費・管理費	捻出	協力	寄付
事業成果の活用	データを活かした事業実施	データを活かした施策実施	活動活性

### 3. 助成事業のアピールポイント・よかったこと

- ◆ このシステムを作っていく段階で、行政・NPO（市民）双方の特性を活かした「複眼的な視点」を持つ「横断的な繋がり」も生まれてきた。このような中間支援的組織のネットワーキングが、さまざまな NPO や市民活動団体の「自立」から「共立」を促していき、将来的な「住民自治」への布石ともなると考える。そういう意味で非常に貴重な助成制度だと思う。
- ◆ 当法人も活動拠点としてきた「川西市市民活動センター」「川西市男女共同参画センター」が平成 22 年度より指定管理者制度導入となり、当法人が指定管理者として選定された。このことにより、この事業の継続性が担保されたので、平成 22 年度以降もセンター事業と連動させながら、WEB ベース・紙ベースでの利用団体を増やしていくことが可能となった。
- ◆ また、川西市では平成 22 年度に「川西市参画と協働のまちづくり推進条例」が制定され、「市民にできること」「行政と協働でできること」「行政がすること」などの整理づけもなされ、NPO 法人や市民活動団体への理解や支援体制、協働体制も促進されることと期待している。

### 4. 助成金の活用状況

- ◆ 調査事業人件費・調査事業交通費・謝金（交流会／説明会）
- ◆ データ読取スキャナー購入など



### 5. 今後の事業計画

- ◆ 阪神北県民局管内では、平成 22 年度から、当法人も参画している「きらっと☆ネットワークコーディネーター設置事業」が始まり、管内でのさまざまな協働対象団体の把握をしようとしている。当該事業とも連携して、地域力向上のさらなる効果が現れることが期待される。
- ◆ これらの事業は、カンフル剂的に即効を見込む事業というより、漢方薬のようにじわじわと効力を発揮する事業だと思うが、中間支援事業としては不可欠なものである。今後も市の中間支援センターでの指定管理者事業との相乗効果を見込みつつ、継続的に実施していきたいと思う。

## ボランティアと市民ファンドによる古民家再生事業

特定非営利活動法人 たんばぐみ

### ① 団体概要

丹波地域に愛着をもち、地域づくりに積極的に参加する自律した「森の市民」の育成を図るとともに、丹波地域のまちづくり、地域の活性化、丹波地域の環境保全を進めることを目的に設立されたたんばぐみ。

「自分達のことは、自分達の手で」をモットーに、丹波産ブランド「たんばる」の普及振興、丹波地域の田舎暮らしの全般のサポート業務他、地域のネットワークを生かしての中間支援、広報サポート活動を行う。

### ② 助成事業の概要・協働の相手先

古民家再生プロジェクトとは、伝統的なまちなみ保全を目指して失われていく古民家や町屋を、市民ファンドを活用し、プロの専門家の指導の下にボランティアによる協働作業で改修し、改修費用を抑えた上で、住みたい人が購入し、新しい住宅や店舗に再生し、町並みを保全していくプロジェクト。

#### ■古民家再生事業

- ・第1棟目は、改修後ギャラリーとして開設
  - ・第2棟目は、改修後カフェギャラリーとして開設
  - ・第3棟目は、ギャラリーとして開設
- 現在（H22年3月末現在）は、篠山城近くにある武家屋敷を飲食店への活用目的に、改修作業を行っている。  
※作業日は、毎月第1・3土曜日に開催。

作業日に合わせて、毎回ボランティア講座を開催。道具の使い方、壁の塗り方、古民家物件の見方、傾きの調整方法など。毎回専門家の講師をお呼びし、古民家に関する専門講座を開催している。

#### ■市民ファンド

- ・事業の本格展開に向け、篠山市が出資の一般社団法人ノオトがファンドを設立。（無担保利付少人数私募社債）
- ・引き続き、篠山市建築組合・篠山市等との協働関係を構築しつつ活動を継続

役割分担

篠山市	一般社団法人 ノオト	NPO
登録文化財等の指定 ・その他の活動支援	・出資募集と融資 （市民ファンドの 運用）	・ボランティアの募集 ・ボランティア養成講座の開催 ・再生事業等の普及啓発

### ■古民家再生物件調査

今後、継続的に活動が続けられるよう、次回以降の改修対象物件の調査を行う。

- ・ 篠山市街地を中心に町屋再生候補物件を調査・ヒヤリング
- ・ 再生可能物件11件リストアップ
- ・ 各戸ヒヤリング調査の上、古民家再生候補物件として登録

### ■ ファンド啓発イベント（フォーラム）の開催

ファンドの本格的稼働に伴い、地域住民及び関係者の方々への啓もうを目的にフォーラムを開催。

- ・ 3月14日（日） 篠山市河原町 鳳凰会館にて 参加者45名  
ファンドの説明・先進地から講師をお呼びしての講演・ディスカッション



ボランティア講座の様子



国土大臣賞受賞  
(まちづくり功労者大臣賞)



作業の様子

### ③ 助成事業のアピールポイント・良かったこと・苦労したこと

良かった点は、実際に古民家をボランティアの手で改修し、その物件を活用出来ているという実績がすべてを物語っている。当事業を通して、この仕組みでの改修が安価で出来るということが実証できた事が、今後の活動に大いに役立つ。当初は、参加者の募集とファンドの仕組み作り、特に貸金業法のクリアに苦労した。

### ④ 助成金の活用状況

助成金は、ボランティア講座開催に伴う講師料・チラシ等の広報物作成費。フォーラム開催に伴う会場費・講師料・広報宣伝物。物件調査費に伴う調査員人件費等に使用

### ⑤ 今後の事業計画

中間支援組織としての役割を持つたんばぐみから、古民家再生プロジェクト部門は発展的独立を遂げ「NPO法人町なみ屋なみ」を設立。引き続き5棟目・6棟目と改修作業を進めるとともに、古きよき町並みの保全の為に、市民ファンドを活用しての古民家再生事業を継続して行っていく。

NPO法人たんばぐみ [www.tambagumi.com](http://www.tambagumi.com)  
篠山市大沢2-9-7 KOSUGI彩華ビル1F  
電話・FAX 079-506-3024 メール [info@tambagumi.com](mailto:info@tambagumi.com)

## 中間支援活動助成

# (必須) SWOT分析とBSCをツールとした中期計画策定支援事業

## 特定非営利活動法人 コミュニティ・サポートセンター神戸 (CS神戸)

### 1. 団体概要

1995年の阪神・淡路大震災を契機に生まれたボランティアグループを母体として1996年10月に発足し、1999年4月にNPO法人格を取得。NPOの起業・運営支援、就業のサポート、各種研修事業、調査事業等の中間支援活動の他、指定管理者として駅前駐輪場や会館の管理も行っている。「自立と共生」をモットーに、地域の人による地域のための市民活動や市民事業をサポートしている。

### 2. 助成事業の概要

#### (1) 選定団体について

①中期計画策定に関する意欲が高い、②CS神戸との信頼関係がある程度構築されている、③複数人での参加が可能、④多様な活動分野から選定すること、をポイントとし、5団体を選定した。

団体	分野	地域	選定理由	結果および今後の対応
A	男女共同参画	尼崎市	指定管理による会館管理や子育て支援事業を実施。昨年度はBSC策定途中で終了したため、今年度の継続団体とした。	2期目の指定管理者が決定し、管理期間中(3年間)と自主事業の子育て支援事業を中心としたBSCを作成し、2年間の支援を終了。
B	外国人支援	神戸市中央区	日本語教育の普及事業やボランティア養成事業を実施。昨年度はBSC策定途中で終了したため、今年度も継続団体とした。	事務局機能の構築と自主事業の安定化に焦点をあてたBSCを作成。当事業を終了後も年に数回の一般相談を通じサポート継続中。
C	障がい者支援	神戸市長田区	自立支援法に基づく事業と自主事業として障がい児預かり保育事業を実施。組織運営の強化が重要と判断し、選定した。	新規事業の開拓を視野に入れ、事務局機能、会計など、組織の基盤づくりを初年度の目的とした。引き続き2011年度も対象とする。
D	スポーツの普及	芦屋市	スポーツ啓発活動などを実施。今後、指定管理による会館管理は重要なマーケットであり、ニーズが高いと判断し、選定した。	組織規模が大きく、事務局・役員間のミッション&ビジョン共有が中心となった。中核スタッフの辞職により、09年度のみの実施となった。
E	子どもの健全育成	神戸市西区	発達障がいの子どもの親を心理面よりサポートする各事業を実施。委託事業と自主事業のバランスは多くのNPOの課題であり、モデルケースとして選定した。	スタッフ間のミッション共有、事務局基盤の整備に重点を置いた。委託事業と自主事業のバランスを鑑みながら単年度のBSCを作成。2011年度も継続する予定。



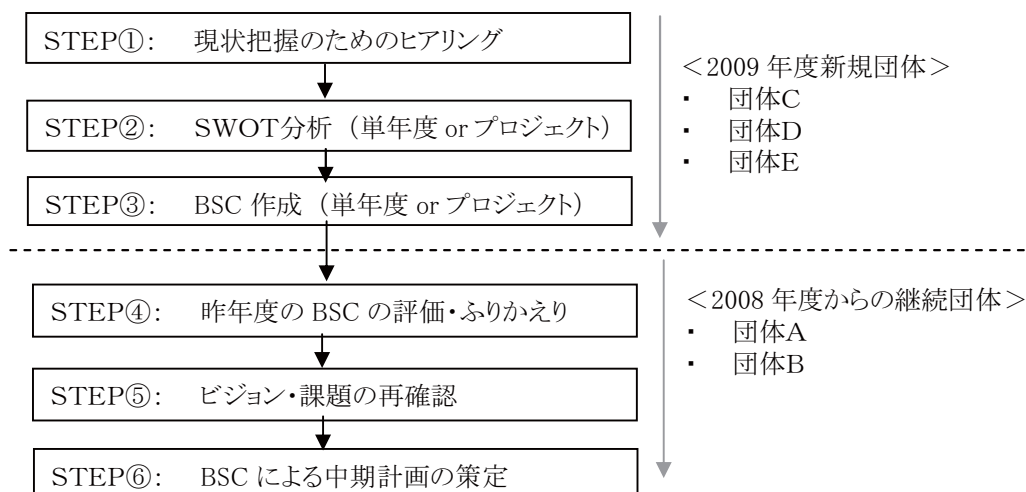
コンサルテーションの様子



合同研修会の様子



- ・ SWOT分析（強み・弱み・機会・脅威）とBSC（顧客・財務・業務プロセス・学習と成長）の各視点から、事業計画を立案する手法を踏襲した。
- ・ 新規団体に関しては、次年度以降の継続を視野に入れ、SWOTおよびBSCよりも、複数の関係者で議論し立案するための基盤整備に重点を置いた。
- ・ 継続団体に関しては、昨年度に策定したBSCを評価し、更にビジョンや課題を整理した上で、中期の視点に基づいたBSCを作成した。
- ・ 今年度初めての試みとして、対象5団体での合同研修会を実施し、共通課題解決のための意見交換を行った。この研修会の実施により、対象団体同士で講師の交換を行うなど、分野を越えたネットワークが構築された。



### 3. 助成事業のアピールポイント・良かったこと・苦労したこと

- ・ SWOT分析、BSCは、マネジメント支援ツールとして長年使用しており、CS神戸のノウハウを十分活かすことができた。
- ・ ワークショップ形式で行ったため、プロセスを通じて役員やスタッフ間のミッション共有ができ、組織運営に対する意識を高め、役割分担をすることができた。
- ・ 組織が大きく、伝統的な組織がNPO法人化した場合、NPOの役割が認知されていないことが多く、ミッションの共有に労力がかかった。

### 4. 助成金の活用状況

主にコンサルテーションにかかる人件費、合同研修会の経費として活用した。

### 5. 今後の事業計画

必須事業については、次年度以降も継続的に実施。09年度からの継続団体に加え、新規3団体についても、同様の手法を利用し中期計画の策定支援を行っている。

団体名：特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸（CS神戸）  
 所在地：〒658-0051 〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町 2-13-1 森田ビル 3階  
 連絡先：TEL：078-841-0310 URL：<http://www.cskobe.com> E-mail：info@cskobe.com

(必須) NPO中期ビジョンづくり支援事業

(選択) NPOスタッフのキャリア形成促進支援事業

特定非営利活動法人 コムサロン 21

(1) **団体概要**

平成3年9月設立 平成12年1月NPO法人認証  
会員数165名(平成22年3月現在)

中間支援NPOとして、市民活動団体の事務局代行、NPOやソーシャルビジネスの起業や運営の相談業務、行政等からの委託事業・助成事業を行なっている。

(2) **助成事業の概要**

(必須)NPO中期ビジョンづくり支援事業

地域で活躍しているNPO法人が、自らの活動の中期ビジョン計画を立てて実現してゆくためのサポートをセミナーや個別相談を通して実施した。

・ ワークショップ

まちづくり系と福祉系のNPO法人2団体が参加。講師には公認会計士の方をお招きし、SWOT分析の重要性や活動資金の性質を学んだ。

・ アドバイザー派遣

上記2団体に加え、設立間もない団体や中堅の団体の活動場所等に専門家やアドバイザーが直接出向き、運営に関する様々な指導や助言をしたり、内容によっては出張セミナーを開催した。

(選択)NPOスタッフのキャリア形成促進支援事業

NPOスタッフが主体的に業務に取り組み、事業に必要な専門的な知識・技能を習得することを促進するため、資格取得に必要な研修等を受講することを支援した。

(3) **助成事業のアピールポイント**

必須事業を実施することにより、以下のことが課題として見えてきた。

**「資金の“性質”を知ることが大切」 = 「量」より“質”**

- 助成金収入のような「応援収入」はいつ途切れるかわからない
  - この割合が高い団体はいつ財政が破たんしてしまうかわからない不安定さを抱えながら活動していくことになる。
  - 応援収入がなくても、自力で活動していける資金基盤を持つことが必要。
  - 助成金は満額使い切らなければならない場合が多く、資金として貯蓄することができない。
- 寄付金は継続性・安定性ともに低い
  - しかし、寄付を呼び掛ける=団体の活動をPR(告知)する機会とも言える。
  - 継続的な寄付を受けるためには説明責任が伴う。資金管理や用途について確実に説明できるよう、報告・情報公開を怠らない体制が必要。
- 企業で言う「生産活動」とは、NPOでは「付加価値を生む」こと

▶ 企業で言う「販売促進」とは、NPOでは「支援を得る」こと  
これらの資金の特性を知った上で、『自分たちの団体に必要な資金はどのような種類のお金なのか・活動にあった資金はどのようなものなのか』を考察し、より目的に添った資金を集められるように活動を展開していくことが必要となる。

中期計画では、

「資金の性質を知ること ⇒ 自団体の活動の分析 ⇒ 次年度以降の活動計画策定(資金獲得計画策定)」

といったプロセスが必要となる。

『5年後どのような種類のお金を使って活動していきたいか』をまず考え、それに添った形で活動計画をつくっていけばよい。

選択事業を実施したことにより、スタッフのスキルアップが図られ、就労相談などに有効なキャリアカウンセリングに関する有資格者(CDA)となった。無料職業紹介所を運営している当法人においては、求職者に対して専門的なアプローチが可能になり、より良いサービスを提供することにもつながった。さらに波及効果として、他のスタッフも資格取得や研修会参加への意欲が見られるようになった。

#### (4) **助成金の活用状況**

- ◆ セミナー開催のための経費(講師謝金)と専門家(公認会計士・税理士)への謝金
- ◆ 研修費(キャリアカウンセラー養成講座受講料)等

#### (5) **今後の事業計画**

NPO法人への支援にあつては、資金特性の重要性を相談業務などを通じて伝えていき、そういう側面からの運営支援ができればと考えている。さらに、これまでの実績だけではなく、現状とこれからどうしていきたいかを視野に入れた支援もしていきたい。

又、スタッフのキャリア形成支援促進を今後も進め、スキルアップの向上に伴う企画力・交渉力の向上や市民へのサービス向上に努めていく。

#### (6) **活動状況**

セミナーの様子



アドバイザー派遣の様子



(団体代表者氏名) 理事長 前川裕司  
(住所) 〒670-0932 兵庫県姫路市下寺町43 姫路商工会議所新館4階  
(連絡先) 電話: 079-224-8803 FAX: 079-2241553  
URL: <http://www.com21.or.jp> E-Mail: [info@com21.or.jp](mailto:info@com21.or.jp)

## 中間支援活動助成

### (必須) 中期ビジョン作成支援事業 (選択) 「助成金カフェ」事業

特定非営利活動法人 市民活動センター神戸

#### 1. 団体概要

おもに兵庫県で、個人および団体の行う市民活動、市民事業を支援するとともに、必要な調査研究、政策提言、啓発活動等を行い、もって阪神・淡路大震災の教訓を生かした地域社会の自律的な発展と市民社会の構築に寄与することを目的に、次のような事業を行っている。

- ・調査研究・政策提言（制度外福祉サービス実態調査など）
- ・情報発信（Web・情報誌等による情報提供など）
- ・ネットワーキング・事務局（ひょうご市民活動協議会事務局など）
- ・NPO支援（経営相談、講座の開催、拠点提供など）

1995年3月発足、2001年3月NPO法人化。2010年10月、認定NPO法人に。



#### 2. 助成事業の概要

##### ①中期ビジョン作成支援

昨年度から継続の3団体を含む5団体に対し、のべ14回のアドバイザー派遣を行った。

支援先団体	実施回数	担当	目標	実施内容、成果	その後
須磨区 高齢者福祉	2回	実吉	①理事会の活性化 ②理事以外のメンバーのコミットメントを深める ③当面の組織改革の具体的な行動計画立案、実行	役員体制の再構築を検討。「経営企画委員会」の設置や新理事の選任、財務担当役員の選任などを提案・助言した。	22年度も支援を継続中
西宮市 こども	6回	実吉	組織改革の動きの中で設置された内部委員会に参画し、定款変更または細則制定の案を検討しガバナンスの改革を行う	総会・理事会と内部委員会への参加を通し「NPOならこうあるべき」という点と意思決定に関するさまざまな取り決めについて助言。組織改革が軌道に乗り始めた。	この制度としての支援は終了。随時相談に乗る
東灘区 障害者福祉（当事者）	2回	八十	組織としての活動目標を設定し、それに向けた役割分担をする	年度早々に代表が突然職を降りてしまい、解散の危機に。他のメンバーの事後対応の相談に乗った。	メンバーは可能な範囲の活動を継続中。随時ご相談に乗る
中央区 食・農	3回	八十	同種の活動をする団体のネットワーク。情報交換や共同広報などを通じて個々の団体の活動継続の道を探る	情報共有および課題の提出・絞り込みについてファシリテート。ネットワークの意義が参加者に認識され会議に対するモチベーションが上がる。	22年度も支援を継続中
須磨区 障害者福祉	1回	八十	コンプライアンス面を整備、信頼感の持てる団体になる	現状の聞き取りまで。	22年度も支援を継続中

## ②助成金カフェ

- ・第1回 10月17日(土) 7団体 (8人)
  - ・第2回 11月4日(水)「基礎編」 3団体 (4人)
  - ・第3回 12月2日(水)「特別編」= 2基金からゲスト、12団体 (12人)
  - ・第4回 12月16日(水)「実践編」 4団体(5人)
  - ・第5回 2月3日(水)「実践編」 2団体 (2人)
- 各回 18時30分～20時 (しばしば延長)  
当団体ミーティングスペースにて (第3回のみ2階会議室)



助成金にまつわる素朴な疑問を解決してもらう場として開催、のべ31人の参加があった。「基礎編」では助成金に向いている事業や申請先をどう探すかなどのレクチャーと質疑応答、「実践編」で過去の不合格申請書を素材に申請書の書き方のレクチャーを行ったほか、本年度から助成事業を開始した関西の2基金から担当者を招いた「特別編」も開催し、熱心な参加者を集めた。

### 3. 助成事業のアピールポイント・良かったこと・苦労したこと

中期ビジョン作成は、先方の諸事情で当初予定したようには進まないことも多いが、それも乗り越えながらそれぞれ前進しているところである。その中でネットワーク支援は、参加者のネットワークへの期待が徐々に高まっていくのが感じられ、楽しい支援である。ネットワークとしてのゴールを設定しつつ、本来の目的である個々の団体の状況改善に役立てていただきたいと考えている。

助成金カフェは複数回参加した団体も多かったが、「ずっと諦めていたけどまた申請してみる気になった」「落ちた理由がわかって納得した」などの声があった。さらにその中から、特別編に参加した基金も含め助成申請して採択された、という報告を複数いただいたのは嬉しい成果だった。

### 4. 助成金の活用状況

アドバイザーおよびコーディネーターの人件費、参加者募集の広報費用に充当した。

### 5. 今後の事業計画

団体によって進捗に差があるが、22年度も継続中の3団体は引き続きご支援していく。さらに1～2団体、新たな支援先を見つけたい。

また、助成金カフェは形を変えて22年度は基金・財団担当者を招いた「合同助成金説明会」として開催。引き続き助成金に対する理解促進や情報提供に努めていく。

特定非営利活動法人市民活動センター神戸  
理事長 中田豊一  
神戸市中央区元町通 6-7-9 秋毎ビル 3F  
Tel 078-367-3336 Fax 078-367-3337  
E-mail kiroku@kobekec.net  
HP <http://www.kobekec.net>

(必須) みんなで「元気！」になる C (コーチング) & S (サポーティング) 事業

特定非営利活動法人 市民事務局かわにし

## 1. 団体概要

2005年4月設立の川西市に拠点を置く『中間支援』NPO法人。地域の市民活動団体やNPOを支援しています。活動上のさまざまな相談への対応、活動に必要な情報の収集や提供、団体立上げやNPO法人化のサポート、また、市民同士・団体同士だけでなく市民・行政・企業・大学・研究機関などとのコーディネートもしています。新たな「公」の役割を担う、いわば「まちのファシリテーター」のような仕事をしている法人です。

## 2. 助成事業の概要:(A)【ベーシック】&(B)【スペシャル】

### ■ 概要 (A) 【ベーシック】

- 全体を通してのコンセプトとしては、相談者が気軽に立ち寄り、相談後には、「人」も「活動」も「元気」になり、地域においてお互いが支えあい補完しあいながら成長していく中間支援事業をめざして実施した。イメージとしては、NPO法人の定期的「組織健康診断」で、自立的・継続的なNPO活動に必要な診断項目を設定した。
- 具体的には、「SWOT分析」手法で各団体の事業内容・法人運営・財務状況などを一緒に分析し、次に、それらを「戦略マップ」に落とし込み、さらに、「バランススコアカード(BSC)」に、「財務の視点」「顧客の視点」「業務プロセスの視点(仕事の進め方)」「学習と成長の視点(職員の育成)」(項目は任意で変更)の項目に添って分析し、NPO法人が将来的展望を持って持続可能な事業運営ができるようにコーチングした。また、今年度ゴールとして、これらの分析や専門家によるアドバイスが平成21年度「事業報告書」へ反映されるよう、また将来的には「中期事業計画」の立案も目して支援した。
- 対象団体の募集と採択方針は、市内のNPO法人(約30団体)の内、実働している団体(16団体)をピックアップし、採択が各分野に亘ることを念頭に、主に以下の2点に留意して5団体を選定した。
  - (1) 比較的長期間活動をしている団体の場合は今後の課題抽出を中心に
  - (2) 立ち上がったばかりの団体の場合は基盤整備や強化を重点に



### ■ 概要 (B) 【スペシャル】

- NPO法設立から10年を経て、最近の傾向としてミッション重視より事業中心のNPO法人が増えてきているのではないかと思われる。この事業では原点を振り返り、ミッションやボランティア活動の意義についての講座を、新しい実験的なスタイルで実施した。
- NPO法人設立説明会…NPO法人設立に際して、継続運営に必要なことやミッション確認などについてNPO法人設立をめざす会員向けに説明会  
⇒ 2009/12/14 講師：当法人理事
- NPO活動・ボランティア活動のミッションを考える講座「生きている本に話をきく！」  
デンマークを発祥とする「生きている図書館」のやり方を取り入れ、NPOやコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの専門家・ボランティア実践者が「本」になって、NPOやボランティアに関心を持つ人に話をし、市民活動やNPO活動のエッセンスを伝えた。(同様の講座を別事業でシリーズ化して1/29にも実施(NPO法人しゃらく：小倉譲さん)  
⇒ 2010/01/27 NPO法人ソーシャルデザインファンド：金森康さん、川西市社協ボランティアコーディネーター：佐藤さん、当法人理事

### 3. 助成事業のアピールポイント・良かったこと・苦勞したこと

- この「中間支援活動助成」の目指しているところは、これからの新しい「公共」分野を担う NPO セクターの基盤強化にあり、NPO がさらに認知されていくためには中長期的な視野の経営が必要なことを認識する意味で意義深いと思う。
- また、この助成金制度ではコーチング的なソフト事業や人件費に対して対価がつけられるので、コンサルタント事業などを受託していない中間支援 NPO にとっては、非常に有用な助成制度である。
- 一方、対象団体声かけの際、代表者や事務局長らから「日常の業務に忙殺されており、計画立案のための時間取りや役員・スタッフに参集してもらうのは困難だ」「今までこの状態でやってこられたので、あまり問題を感じていない」などの声はまだ多くあり、自転車操業的に日々の仕事に追われている NPO の現況に同情しつつも危機を感じた。今後も引き続き「立ち止まる勇気」「中長期を見渡す重要性」を伝えていきたい。

#### ■ 【アウトカム】 A：ベーシック

- コンサルティング&サポーティング対象 NPO 法人数 ⇒ 5 団体
- 平成 21 年度事業報告書への反映として、透明性・説明責任・将来性に配慮した事業報告書内容になった。
- 会員増大（1 団体）、新事業立ち上げ（2 団体）、行政との協働事業開始（1 団体）、活動拠点の移転（1 団体）など、どの団体も状況が良好な方向へ進んだ。

#### ■ 【アウトカム】 B：スペシャル

- ボランティア活動や NPO に興味を持っている人、NPO 法人設立予定団体：15 名  
⇒ 開催講座・セミナー数：2 講座  
⇒ 講座開催後の団体立ち上げ支援など相談数：6 団体
- 講座講師をするスタッフ対象  
⇒ 受講する研修講座・セミナー数  
：4 講座×1 名  
⇒ 講師をする講座・セミナー数  
：3 講座×1 名



### 4. 助成金の活用状況（使途）

- アドバイザリー対応・コンサルティング・コーチング人件費、左記に係る交通費など

### 5. 今後の事業計画

- NPO 法人の持続可能な運営のために中長期的な視点は不可欠であるが、この事業を通してコンサルティングやサポーティング、また、アスリートに寄り添うようなコーチング能力のある中間支援組織の存在はますます重要だと感じた。
- また、その中間支援団体のスタッフは、地元密着の幅広いネットワーク、豊富な情報、そして、それをコーディネートする力を兼ね備えた「協働コーディネーター」的な人材であることが絶対条件だと考える。
- 平成 22 年度から「川西市市民活動センター」「川西市男女共同参画センター」の指定管理者としての業務も始まったが、今後も「中間支援活動助成」のようなスキームを持った助成金を活用させていただき、人材育成をしながら上記事業を継続実施していきたい。

特定非営利活動法人 市民事務局かわにし 理事長 久 隆浩

〒666-0015 川西市小花 1-8-1-104

TEL& : 072-774-733

FAX : 072-774-7334

e-mail

jim@jttk.zaq.ne.jp

hp : <http://www.npojmkawanishi.org>

blog : <http://www.hnpo.comsa.po.net/jkawanishi/>

(必須)「NPO 法人における中期計画作成支援 2009」事業

特定非営利活動法人 宝塚NPOセンター

① 団体概要

「市民の手で市民活動を支える」震災を教訓に 1998 年設立した民間の市民活動を支援するセンター。市民参画を促進し、協働のまちづくりで新たな公のセクターの確立をめざす。主な事業一人材育成講座・市民活動啓発のための講演・NPO 法人設立支援や運営相談・NPO ネットワーク作り・コミュニティビジネスのコンサルタント等。

② 助成事業の概要

今年度は中期事業計画作成支援 2 年目となり、参加者の取り組みがより自発的にできるよう、個別コンサルティングにおいてもワークショップを盛り込むなど工夫をし、更なる支援メニューの拡充をめざした内容にした。実施内容は下記のとおり。

《今年度留意した点と事業の流れ》

- ① 実施内容をブラッシュアップする：これまでの成果に加え、視察内容を活かし、支援メニューの工程及びフォーマットの精査を行う。
- ② 個別型コンサルティング支援が適当と考えられる団体に対し、訪問相談を実施(4 団体×5 回程度、経営コンサルタントとスタッフが訪問)
- ③ 集団型支援として、中期事業計画作成支援講座を開催する。
- ④ 以上の支援事例の結果分析を行い、相談支援のあり方を深化させる。
- ⑤ 現段階での成果のまとめとして「NPO 中期計画の作成の手引き BOOK (事業内容自己診断表)」を作成し、NPO 法人へ情報提供をする(完成版ではなく、今後も順次修正し使い易くするためのたたき台を想定)

<実施内容>



2009 年 8 月	今年度中期事業計画作成支援方針の検討 企画内容、実施スケジュール策定、決定
9 月	中期事業計画作成支援希望団体募集、 ヒアリング実施のうえ選定
10 月	個別コンサルティング開始 ・中期事業計画作成講座企画
11 月～1 月	・中期事業計画作成講座参加者募集 ・12/19～20 中期事業計画作成講座の開催
2 月	・「NPO 中期計画作成の手引き BOOK」 構成、内容検討、原稿作成、校正、印刷
3 月	上記「手引き BOOK」完成



### 中期事業計画作成講座（宿泊研修）の開催

個別コンサルティング支援とは別に、入門編として中期事業計画に興味がある団体や、必要性を感じている団体に向けて、『～経営を考え、継続できる NPO になるために～自分たちの団体の未来図をつくろう』をテーマに宿泊研修を実施した。

日時：12月19日（土）13：30～20日（日）11：00

場所：（特活）国際エンゼル協会東条研修センター

参加者：のべ30名（14団体）



### ③ アピールポイント

今年度支援した4団体は履歴、活動分野、支援内容がそれぞれ異なっていたため、さらに多くの相談事例の積み上げができ、コンサルティング力もつけられたものとする。

#### ■ 支援団体にとって

今年度は昨年の経験を活かし、事前ヒアリング時に支援内容の説明を十分に行ったことにより、双方で実施内容の理解ができ、多くの作業を負担感なく円滑に行えた。

#### ■ 当法人にとって

専門家と共にコンサルティングを2年間実施したことにより、コンサルティングの手法の広がりと共に支援のためのノウハウを身につけることができた。

### ④ 助成金の活用状況

この事業はまさにマンパワーが求められる事業であり、支出の約8割が専門家謝金、アルバイトを含む人件費と交通費に、その他が印刷費・会場費・消耗品費に充当された。助成金がなければ実現できない充実した事業であった。

### ⑤ 今後の事業計画

今年度は方向性の確認と支援方法の確立を目標に事業を実施し、さらに充実した支援ができた。さらにその支援内容を中間的にまとめた成果物として「NPOのための中期計画作成の手引きBOOK」を作成できたので、この活用により、今後より多くの団体が事業計画の作成の重要性を感じ、作成に臨んでもらえることを期待している。ぜひ来年度もこの成果をより発展的に活かしていきたい。

団体名：宝塚NPOセンター	代表者：竹内浩
所在地：〒665-0845 宝塚市栄町2-1-1 リオ1-3F	
連絡先：TEL:0797-85-7766 FAX:85-7799 E-mail: <a href="mailto:zukanpo@hnpo.net">zukanpo@hnpo.net</a>	
URL: <a href="http://www.hnpo.net/n/zukanpo/">http://www.hnpo.net/n/zukanpo/</a>	

## 中間支援活動助成

(必須) NPO法人中期経営計画づくり支援事業

(選択) NPO共済に関する研究活動

特定非営利活動法人 シンフォニー

### 1. 団体概要

1995年1月に起こった阪神淡路大震災の震災復興ボランティアを母体に1996年4月に発足し、仮設住宅でのコミュニティづくり、引越し助け合いプロジェクトなどを主体に被災者支援を行ってきた。1999年6月NPO法人格を取得。「自立と共生のまちづくり」をミッションに現在は生きがいごとサポートセンター阪神南の運営やイベント事業、ITサポートを通して、地域人材の育成、NPO支援を行っている。

### 2. 助成事業の概要



中期経営計画づくり入門セミナー



NPO共済研究会

NPO団体の継続的な事業運営のための中期経営計画作成の支援を行った。

#### 必須事業：NPO法人中期経営計画づくり支援事業

##### (1) 合同セミナー

選定団体及び参加申し込み団体に対して中期経営計画の必要性等についてのセミナーを行った。

内容：NPOにとっての中期経営計画の必要性、団体の分析方法、環境分析方法など中期経営計画の重要性や作成していく手法をセミナー及びワークショップ形式で実施。セミナー内でSWOT分析、BSC等を各団体に作成してもらった。

講師：當間 克雄 氏（兵庫県立大学 経営学部 教授）

##### (2) 個別支援

個別訪問による経営診断と中期経営計画書の作成支援を選定団体の4団体に対して行った。（尼崎1団体、西宮2団体、明石1団体）

各団体とも、SWOT分析等にもとづき「強み、弱み」「脅威、機会」などを踏まえ、コア事業の明確化、事業継続と発展を展望していくという方向で支援をおこなった。

共通して弱点として浮かびあがったのは次の点である。

- ①ネットワーク（マーケティング上も不可欠）の拡大
- ②広報活動・情報発信力の強化
- ③働くスタッフ間の価値観・ミッションの共有
- ④OJT、OFTの必要性
- ⑤財務会計に加えて管理会計の導入

これらについて、コンサルで課題としてはっきりさせ、取り組む必要性を確認することは出来た。

#### 選択事業：NPO共済に関する研究活動

NPO法人として有給スタッフはもちろん、活動を支えている会員、ボランティアにたいしてバランスよく活動できる為のマネジメントを考える場であり、団体・個人が少しの負担をしていることを助け合いの積立などを通して各団体に補助していくようなシステムを考えていこうという研究活動を行った。

- 【1】NPO共済講座 平成21年7月30日（木）
- 【2】第1回NPO共済研究会 平成21年12月12日（土）
- 【3】第2回NPO共済研究会 平成22年1月20日（水）
- 【4】第3回NPO共済研究会 平成22年2月27日（土）

### 3. 助成事業のアピールポイント

この事業を通して、時間をかけた運営相談ができた。そのなかでも資金面の強化のために必要なことは何かを相談員、支援団体が一緒に悩み、考えることで信頼関係が生まれ、団体内情に沿った相談を行うことができた。また、選択事業のNPO共済会を通して団体経営者側が協働でスタッフ、ボランティアスタッフの慶弔制度について考えることで優秀な人材の確保やNPO業界全体で考えていきたい課題が共有できた。

### 4. 助成金活用状況

講師謝金、相談員費用、コーディネーター費用に「助成金」を活用することができた。そのため、団体に何度か訪問することにより、中身の濃い、継続的な相談をすることができた。

### 5. 今後の事業計画

今後はコンサルと同時に、次のような形で事業やマネジメントに踏み込んだ実質的支援をおこなっていききたい。

- 1) ネットづくりや広報支援として、ICTの活用をサポートしていく。特にホームページやプロモーションビデオなどの作成
- 2) NPOで働くスタッフのキャリアサポート。OJTを個別に行う力がない団体がほとんどであり、これを社会化する方向でシステム化を検討していく。4月より始めるNPOの福利厚生支援との連携
- 3) 財務会計にくわえて、管理会計のやり方について、集合研修・個別支援

特定非営利活動法人 シンフォニー 〒660・0861 兵庫県尼崎市御園町5 尼崎土井ビルディング2F メール：info@npos.cc URL：http://npos.cc
---

(必須) NPO自立活性化モデリング事業

(選択) NPOスキルアップ事業

特定非営利活動法人 北播磨市民活動支援センター

1. 団体概要

北播磨地域及びその周辺地域に居住する住民に対して、各種の市民活動に参画することを啓発・支援する事業を行い、市民活動を育成及び活性化並びに同地域の文化の発展を目的に、市民活動を支援する団体として2003年に設立。具体的には市民活動団体の設立や運営に関する支援、ネットワーク化の推進、情報提供などを行っている。

また、公共サービスのうち市民が主体となって実施した方が、より効果的と考えられる業務（男女共同参画事業、小野まつり、国際交流協会事務ほか）を受託している。

2. 助成事業の概要

(1) NPO自立活性化モデリング事業

本事業では、北播磨地域のNPOの発展を目的としてアドバイザー活動を実施。対象団体は公募し、北播磨内で地域や活動分野が偏りすぎないように配慮。自団体の持つ課題解決に向けて意欲的である4団体を選定した。

対象団体の多くが課題と捉えていた会計や労務、広報という分野においては、選択事業であるスキルアップ講座を活用し、共通で持つ問題の解決をはかった。

☆主な実施内容は次のとおり。

①	情報交換会及びワークショップの開催	同業種の団体どうしの情報交換の場をもうけた。
②	出張相談会と調査を兼ねたヒアリング	対象団体の活動内容の把握をするための視察と、課題抽出を目的とした分析を行った。
③	組織運営・経営等幅広い分野でのアドバイザー活動及び支援	専門家ネットワークを活かした細やか且つ問題を確実に解決するための支援を実施した。

(2) NPOスキルアップ事業

NPOの基礎強化のための講座を開催し、管理部門の強化をはかった。すべての講座を少人数制で行ったことで活発な質疑応答がなされ、問題を共有することができた。

☆実施した講座（5回）

①	会計講座	初級編と決算編、専門家による個別相談会を実施した。募集開始すぐに、問い合わせが殺到し、ニーズの高さを実感した。(参加者：初級編21名、決算編18名、個別相談編4団体)
②	労務講座	講座終了後に届いた講師への質問に、講師が直接対応したこともあり、満足度が高かった。(参加者：16名)
③	広報戦略と情報発信セミナー	NPO法人シンフォニーの協力を得、講座を実施した。当法人と初めて関わる受講者が多く、知ってもらえる機会になったことも成果のひとつだといえる。(参加者：15名)

### 3. 助成事業のアピールポイント・良かったこと・苦労したこと

#### (1) NPO自立活性化モデリング事業

- ①組織分析や課題抽出、中期的ビジョンの設定を目指した結果、早い段階で中期計画を可視化できた団体は、実行する中で定期的に計画の進捗状況を確認することができた。
- ②本事業実施中に見えてきた課題についても、当法人の行う他事業と連携させることで解決をはかるなど、具体的な支援を行って成果が出たことは大変良かった。
- ③1団体については、半年という期間の中ではスケジューリングがうまくいかず、課題抽出のみで終わってしまった。



広報誌で事業の紹介を行った。

#### (2) NPOスキルアップ事業

- ①計画段階の想定通り、「会計」「労務」「広報」は必須事業を行う中で、ほとんどの団体から弱みや課題として挙げてきた。必須事業の対象団体も講座に参加してもらうことで、効率的に問題を解決することができた。
- ②本事業を実施したことで年間相談件数が40%増加し、「当法人の認知度アップ」という目標も達成できたといえる。
- ③計画時に期待したとおり、今回新たに招いた講師とも良好な関係を築いており、モデリング事業でも協力を得ている。



講座の様子

### 4. 助成金の活用状況（使途）

アドバイザーの人件費、交通費、講座開催に係る講師への謝金等に充当した。

これまで、NPO支援は自主事業として行っていたため、支援をすればするほど、当法人の経費負担が増えるという苦しい状態だったが、アドバイザーの人件費を得たことで、対象団体への丁寧かつ積極的な支援が実現した。

### 5. 今後の事業計画

今年度は自団体の状況を把握したうえで課題を抽出し、ほとんどの団体では、その課題を解決するための具体的な方法を考えることができた。今後は、プログラムを実行させていく過程で、積極的に支援していきたい。

今回の事業を含めたこれまでの中間支援活動で蓄積されてきたノウハウを活かすために見える化をはかるとともに、支援業務に対応可能な職員を増やしていきたい。

選択事業で講座参加者に行ったアンケートでは、さらに具体的なプログラムを求める声もあった。他の事業や支援活動にフィードバックし、さらにニーズに合った事業を展開していく。

団体名：特定非営利活動法人 北播磨市民活動支援センター  
所在地：〒675-1366 小野市中島町72番地 小野市うるおい交流館エクラ  
連絡先：0795-63-8156  
URL：<http://www.ksks-arche.jp>

平成21年度『企業・NPO協働奨励事業』採択事業

1 企業・NPO協働奨励事業とは？

異なる世界で活動してきた企業とNPOが、地域社会の新しい課題に協働して取り組む気運が高まっています。

その先駆的事例を奨励することにより、協働事業を推進するため、平成17年度から開始した事業です。

なお、NPO法人等がCSRを真摯に推進している企業と協働し、地域社会の課題解決や、まちの活性化に向けた取り組みの一環として、既に実施している不特定多数の利益に供する事業を対象としています。



2 採択団体のご紹介

事業名	住友ゴム工業と中間支援NPOの協働によるNPO支援およびボランティア活動促進事業
団体名	特定非営利活動法人 市民活動センター神戸
企業名	住友ゴム工業株式会社
事業概要	<p>① GENKIスクエア発信事業 住友ゴム工業株式会社（以下、住友ゴム工業）は、社員向けのボランティア活動情報を「GENKIスクエア」として、月に1回5～10件程度、社内イントラネットで配信し、社員の参加促進を図っている。 そのボランティア活動情報を特定非営利活動法人市民活動センター神戸（以下、KEC）がNPOから収集して毎月住友ゴム工業に提供している。</p> <p>② NPO活動支援助成事業 住友ゴム工業の社員有志の給与から一定額を控除するとともに同額を会社が拠出して基金を創設し、「NPO活動支援助成事業」を立ち上げた。 KECは、住友ゴム工業に対して、NPOの情報提供や助成スキームについての助言等を行うなど効果的な助成ができるよう支援した。</p> <p>③ 物品提供ほか 住友ゴム工業の社屋建て替えに伴う机、キャビネットなど余剰備品をNPOに提供（23団体に対して備品356点）したり、水害で被害にあった佐用町への物品提供を社内で呼びかけるなど、随時発生するニーズについて、KECと連携しながら、情報交換やコーディネートを行った。</p>

平成21年度 県民ボランティア活動助成金 エントリー受理及び交付決定一覧表

①保健、医療又は福祉の増進を図る活動、③まちづくりの推進を図る活動、④学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動、⑤環境の保全を図る活動、⑦地域安全活動、  
⑩子どもの健全育成を図る活動、⑰前各号に掲げる活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、助言または援助の活動

社協名	エントリー 受理件数	交付決定 件数	活動種別						
			①	③	④	⑤	⑦	⑩	⑰
神戸市	980	908	468	97	98	18	35	123	3
神戸市社協	37	36	21	0	1	2	1	7	0
東灘区	73	66	44	3	2	0	2	9	0
灘区	97	96	50	12	8	0	8	9	0
中央区	135	125	62	18	9	1	3	14	1
兵庫区	104	97	61	4	14	0	4	9	0
北区	96	94	32	9	24	7	4	12	0
長田区	46	43	14	11	5	0	3	4	0
須磨区	94	90	45	15	9	4	4	10	0
垂水区	127	115	78	7	8	1	2	12	0
西区	171	146	61	18	18	3	4	37	2
阪神南地域	350	328	188	25	33	9	19	36	2
尼崎市	198	181	113	8	21	6	9	18	0
西宮市	96	94	53	10	3	2	8	14	0
芦屋市	56	53	22	7	9	1	2	4	2
阪神北地域	404	381	192	68	20	20	13	48	2
伊丹市	63	54	30	3	5	0	2	11	0
宝塚市	193	187	95	39	9	10	5	18	1
川西市	57	54	27	10	3	1	5	2	1
三田市	78	74	33	14	3	8	0	16	0
猪名川町	13	12	7	2	0	1	1	1	0
東播磨地域	235	225	120	27	17	4	13	28	2
明石市	118	115	62	15	3	3	7	16	2
加古川市	57	54	39	3	4	0	2	4	0
高砂市	32	30	8	5	4	1	4	4	0
稲美町	12	12	5	3	2	0	0	2	0
播磨町	16	14	6	1	4	0	0	2	0
北播磨地域	290	265	163	26	23	9	5	27	0
西脇市	29	27	20	1	0	0	1	4	0
黒田庄支部	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三木市	144	134	82	12	14	9	2	11	0
吉川支所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小野市	34	29	16	4	5	0	1	3	0
加西市	62	59	38	6	2	0	0	7	0
多可町	2	2	1	0	1	0	0	0	0
本部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中支部	2	2	1	0	1	0	0	0	0
加美支部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八千代支部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加東市	19	14	6	3	1	0	1	2	0
社支部	-	0	0	0	0	0	0	0	0
滝野支部	-	0	0	0	0	0	0	0	0
東条支部	-	0	0	0	0	0	0	0	0
中播磨地域	430	409	288	48	13	4	11	30	2
姫路市	326	311	216	33	9	2	11	29	2
家島地域事務所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
夢前地域事務所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香寺地域事務所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安富地域事務所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神河町	39	36	30	5	0	0	0	1	0
神河町本所	19	19	14	4	0	0	0	1	0
大河内支所	20	17	16	1	0	0	0	0	0
福崎町	44	42	26	10	2	0	0	0	0
市川町	21	20	16	0	2	2	0	0	0
西播磨地域	233	206	130	18	11	3	11	22	1
相生市	45	37	16	3	4	0	4	7	0
赤穂市	23	20	15	2	1	0	0	1	0
たつの市	74	69	55	4	0	0	5	3	1
龍野支部	24	22	14	2	0	0	3	1	1
新宮支部	16	14	13	0	0	0	0	1	0
揖保川支部	14	13	11	0	0	0	2	0	0
御津支部	20	20	17	2	0	0	0	1	0
太子町	13	13	8	1	0	0	1	2	0
上郡町	10	10	7	0	1	0	0	1	0

社協名	エントリー 受理件数	交付決定 件数	活動種別						
			①	③	④	⑤	⑦	⑩	⑰
宍粟市	59	52	28	7	4	2	1	7	0
山崎支部	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一宮支部	-	-	-	-	-	-	-	-	-
波賀支部	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千種支部	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐用町	9	5	1	1	1	1	0	1	0
佐用支所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上月支所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南光支所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三日月支所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
但馬地域	248	232	159	25	7	6	6	17	0
豊岡市	116	114	90	6	3	2	2	6	0
豊岡地区センター	22	21	14	0	2	0	1	2	0
城崎地区センター	1	1	0	0	0	0	0	0	0
竹野地区センター	2	2	0	0	0	0	0	2	0
日高地区センター	64	63	56	2	1	0	1	1	0
出石地区センター	18	18	13	2	0	2	0	0	0
但東地区センター	9	9	6	2	0	0	0	1	0
養父市	37	35	17	7	1	1	1	4	0
八鹿支部	12	12	5	2	0	0	1	2	0
養父支部	6	4	3	0	0	0	0	1	0
大屋支部	12	12	7	3	0	1	0	0	0
関宮支部	7	7	2	2	1	0	0	1	0
朝来市	69	59	38	10	2	2	2	5	0
山東支所	15	11	3	5	0	1	1	1	0
生野支所	6	5	4	0	0	0	1	0	0
和田山支所	25	25	18	2	2	0	0	3	0
朝来支所	23	18	13	3	0	1	0	1	0
香美町	18	17	10	1	1	1	1	0	0
香住支所	6	5	2	0	1	1	0	0	0
村岡支所	9	9	5	1	0	0	1	0	0
小代支所	3	3	3	0	0	0	0	0	0
新温泉町	8	7	4	1	0	0	0	2	0
浜坂支部	5	5	3	1	0	0	0	1	0
温泉支部	3	2	1	0	0	0	0	1	0
丹波地域	244	236	136	36	9	11	9	24	0
篠山市	46	43	24	5	3	3	1	4	0
丹波市	198	193	112	31	6	8	8	20	0
本所	3	3	1	0	0	1	0	0	0
柏原支所	19	18	7	3	1	2	0	5	0
氷上支所	31	31	22	6	0	0	0	1	0
青垣支所	59	59	25	17	3	0	6	7	0
春日支所	33	32	17	1	1	4	1	5	0
山南支所	28	26	20	3	0	1	1	1	0
市島支所	25	24	20	1	1	0	0	1	0
淡路地域	247	235	135	39	17	10	10	14	1
洲本市	85	82	57	6	4	2	5	7	0
洲本支部	52	50	33	4	2	1	4	5	0
五色支部	33	32	24	2	2	1	1	2	0
淡路市	103	96	55	23	9	2	1	2	1
津名支部	49	43	30	6	3	0	1	0	0
岩屋支部	15	14	3	9	1	1	0	0	0
北淡支部	4	4	2	1	0	0	0	0	1
一宮支部	22	22	11	5	4	1	0	1	0
東浦支部	13	13	9	2	1	0	0	1	0
南あわじ市	59	57	23	10	4	6	4	5	0
みどり支部	10	9	6	1	0	0	1	0	0
せいだん支部	17	17	8	4	1	2	0	1	0
みはら支部	15	15	4	1	1	3	1	3	0
なんだん支部	17	16	5	4	2	1	2	1	0
総合計	3,661	3,425	1,979	409	248	94	132	369	13

## ひょうごボランティア基金 過去の助成金交付実績

### 【平成14年度】

□ 行政・NPO協働事業助成(NPO提案型)

(単位:千円)

1年次(14年度採択)

	団 体 名	事 業 名	助成額
1	海外災害援助市民センター	日本語翻訳による海外の災害情報発信、及び学校教育における総合学習等の副読本づくり	180
2	(特)神戸まちづくり研究所	「ひょうご、まちづくりプラットフォーム」設立事業	300
3	(特)コムサロン21	NPO支援 地域ミニプラザ協働運営システムの構築	300
4	(特)シーズ加古川	市民活動支援センター機能構築事業	300
5	(特)市民芸術創造協会	姫路市音楽演劇練習場活性化事業	300
6	(特)女性と子どものエンパワメント関西	子ども育ちに関する学習会をとおして親を支援する事業	300
7	(特)シンフォニー	中高年人材マッチングシステム構築事業(市民人材交流・マッチング事業)	300
8	(特)宝塚NPOセンター	社会的起業家・インキュベーション・センター	300
9	(特)多文化共生センター・ひょうご	総合学習のための教職員研修	300
10	ツール・ド・コミュニケーション	多文化コンテンツクリエイター育成支援事業	300
11	(特)日本災害救援ボランティアネットワーク	地域防災力アップ 人材育成プログラム	300
12	(特)兵庫県腎友会	『口のちの架け橋』発行事業	300
13	(特)兵庫県難聴者福祉協会	パソコン要約筆記者養成事業	300
14	プラザ5	住民主体のまちづくりファンドとシステムの調査・研究	300
	合 計		4,080

### 【平成15年度】

□ 行政・NPO協働事業助成(NPO提案型)

2年次(平成14年度採択)

	団 体 名	事 業 名	助成額
1	CODE海外災害援助市民センター	日本語翻訳による海外の災害情報発信	600
2	(特)神戸まちづくり研究所	「ひょうご、まちづくりプラットフォーム」設立事業	600
3	(特)コムサロン21	NPO支援 地域ミニプラザ 協働運営システムの構築	600
4	(特)女性と子どものエンパワメント関西	子ども育ちに関する学習会をとおして親を支援する事業	600
5	(特)シンフォニー	中高年人材マッチングシステム構築事業(NPO人材交流・マッチング事業)	600
6	(特)宝塚NPOセンター	社会的起業家・インキュベーション・センター	600
7	ツール・ド・コミュニケーション	多文化コンテンツクリエイター育成支援事業	600
8	(特)日本災害救援ボランティアネットワーク	地域防災力アップ 人材育成プログラム	600
9	(特)兵庫県腎友会	『口のちの架け橋』発行事業	600
10	(特)兵庫県難聴者福祉協会	パソコン要約筆記者養成事業	600
	合 計		6,000

1年次(平成15年度採択)

	団 体 名	事 業 名	助成額
1	(特)アルファグリーンネット	兵庫県全県下オープンガーデン化推進プロジェクト	300
2	(特)NPOひょうご農業クラブ	よりあいクラブ明舞(食をとおしてコミュニティづくり事業)	300
3	神戸骨髓献血の和を広げる会	「命のかがやき」サポート事業～骨髓バンクドナー登録者倍増をめざして～	300
4	(特)神戸まちづくり研究所	新たな生活様式実現を柱とする多自然居住推進事業	300
5	(特)こみこみドットコム	障害児教育支援のためのマルチメディア教材作成事業	200
6	(特)支援の会ひまわり	老人保健施設、特別養護老人ホーム入所の身障者通院支援	200
7	(特)市民活動センター神戸	ネットワーク型市民活動相談員事業	300
8	多言語センターFACIL	兵庫県内の医療通訳システム構築	300
9	(特)姫路市介護サービス第三者評価機構	介護サービスの質的向上を目的とした従事者研修事業	300
10	兵庫県移送サービスネットワーク	移送サービス調査及び「兵庫県福祉移送に関する関係者懇談会」設置事業	300
11	兵庫日本語ボランティアネットワーク	外国から来た年少者への学習支援システムの創生	300
12	(特)ひょうご被害者支援センター	早期危機介入に対する準備に関しての調査・研究	300
13	(特)福祉支援センターアグリネット	明舞団地の見守り活動事業	300
	合 計		3,700



【平成16年度】

□ 行政・NPO協働事業助成(NPO提案型)

(単位:千円)

3年次(平成14年度採択)

	団 体 名	事 業 名	助成額
1	(特)神戸まちづくり研究所	兵庫まちづくりプラットフォーム設立事業	1,000
2	(特)シンフォニー	県職員NPOトライやる事業	1,000
3	(特)兵庫県腎友会	『□いのち□の架け橋』発行事業	1,000
4	(特)兵庫県難聴者福祉協会	パソコン要約筆記者養成事業	1,000
5	CODE海外災害援助市民センター	日本語翻訳による海外の災害情報発信事業	586
6	(特)コムサロン21	NPO支援地域ミニプラザ(NPO中間支援組織)協働運営システムの構築	1,000
7	(特)宝塚NPOセンター	社会的起業家・インキュベーション・センター	1,000
8	ツール・ド・コミュニケーション	多文化コンテンツクリエイター育成活動	700
	合 計		7,286

2年次(平成15年度採択)

	団 体 名	事 業 名	助成額
1	(特)アルファグリーンネット	兵庫県全県下オープンガーデン化推進プロジェクト	600
2	神戸骨髓献血の和を広げる会	「命のかがやき」サポート事業～骨髓バンクドナー登録者倍増をめざして～	600
3	(特)神戸まちづくり研究所	新たな生活様式実現を柱とする多自然居住推進事業	600
4	(特)こみこみドットコム	障害児教育支援のためのマルチメディア教材作成事業	500
5	(特)支援の会ひまわり	老人保健施設、特別養護老人ホーム入所の身障者通院支援	600
6	多言語センターFACIL	兵庫県内の医療通訳システム構築	600
7	(特)姫路市介護サービス第三者評価機構	介護サービスの質的向上を目的とした従事者研修事業	600
8	兵庫県移送サービスネットワーク	研修会開催及び「兵庫県福祉移送に関する運営協議会」設置準備事業	600
9	兵庫日本語ボランティアネットワーク	外国から来た子どもたちへの学習支援システムの創生	600
10	(特)ひょうご被害者支援センター	早期危機介入に対する準備に関する調査・研究～直接支援活動～	600
11	(特)福祉支援センターアグリネット	明舞交流センター事業 ～行政情報発信基地と福祉就学機会の創出～	600
	合 計		6,500

1年次(平成16年度採択)

	団 体 名	事 業 名	助成額
1	(特)アマモ種子バンク	市民によるアマモ場造成事業	300
2	(特)コムサロン21	道路植栽管理におけるアドプトプログラムサポート事業	180
3	(特)兵庫県子ども文化振興協会	ママ・パパライン「ひとりで悩まないで！」子育て支援事業	300
4	(特)あかりの街ひめじ	地域特性を活かす公共屋外照明の設置ガイドライン支援事業	300
5	(特)ASUネット	「市民参画による」高齢者、身障者向け家具作りカレッジ	300
6	(特)環境21の会	環境教育推進事業(子供達を主体にした実践と実験を基にした環境教育)	300
7	(特)国際教育文化交流協会	留学生の参画による国際理解推進事業	300
	合 計		1,980

【平成17年度】

(単位:千円)

□ 学生ボランティア活動助成

	助成団体名	助成事業名	助成額
1	神戸女子短期大学V-ネット	栄養士をめざす学生有志によるボランティア活動	39
2	神戸大学学生震災救援隊	「少数者の視点からのまちづくり」を考える連続講演会	100
3	ウィズネイチャー	野外教育学生リーダー育成事業 ～プログラム企画・実施・振り返り～	70
4	関西学院上ヶ原ハピタット	Bahay Atenista Work Camp(バハイアテニスタ・ワークキャンプ)	100
5	兵庫医科大学ボランティア部WITH YOU	病院食を食べてみよう!の会	70
6	神戸学生ユニオン	スクールキッズパートナー派遣事業	100
	合計		479

申請件数 11件 採択件数 6件 倍率 1.8倍

□ 立ち上げ支援助成

	助成団体名	助成事業名	助成額
1	(特)ひといき(1次募集)	事務所家賃助成	300
2	(特)市民活動センター神戸(1次募集)	インキュベートスペース整備事業	281
3	でかけ隊(2次募集)	事務所家賃助成	257
4	(特)さんびいす(2次募集)	事務所家賃助成	189
5	(特)高齢福祉市民ネット・川西(2次募集)	事務所家賃助成	52
	合計		1,079

1次募集分: 申請件数 5件 採択件数 4件 倍率 1.3倍 うち2件採択を辞退

2次募集分: 申請件数 5件 採択件数 3件 倍率 1.7倍

□ チャレンジ事業助成

	助成団体名	助成事業名	助成額
1	(特)アップストリーム障がい者支援センター	小規模多機能なコミュニティレストランの設立	1,000
2	(特)市民事務局かわにし	地域における緊急課題/社会的ニーズに□すぐに役立つ□窓口事業 ～JR福知山線列車事故被害者(負傷者)支援窓口とつどい～	1,000
3	(特)大名草	田舎定住お試し体験事業	780
4	(特)愛逢	現在週3日の配食サービス(夕食)を毎日型(月～土)に拡大する	500
5	農・都共生ネットこうべ	学校ピオトープ支援事業(かんさつ会、ため池調査啓蒙およびエコツアー)	360
	合計		3,640

申請件数 36件 採択件数 5件 倍率 7.2倍

□ インターン助成

採択事業はありません。

申請件数 2件 採択件数 0件

□ 行政・NPO協働事業助成(NPO提案型)

3年次(15年度採択)

	助成団体名	助成事業名	助成額
1	(特)アルファグリーンネット	兵庫県全県下オープンガーデン化推進プロジェクト	1,000
2	神戸骨髓献血の和を広げる会	「命のかがやき」サポート事業	1,000
3	(特)神戸まちづくり研究所	新たな生活様式実現を柱とする多自然居住推進事業	1,000
4	(特)こみこみドットコム	障害児教育支援のためのマルチメディア教材作成事業	1,000
5	多言語センターFACIL	兵庫県内の医療通訳システム構築	1,000
6	(特)姫路市介護サービス第三者評価機構	介護サービスの質的向上を目的とした従事者研修事業	1,000
7	兵庫日本語ボランティアネットワーク	外国から来た子どもたちへの学習支援システムの創生	1,000
8	(特)ひょうご被害者支援センター	早期危機介入に対する準備に関する調査・研究	1,000
	合計		8,000

平成15年度(第1年次) 申請件数 35件 採択件数 13件 倍率 2.7倍

平成16年度(第2年次) 採択件数 12件 倍率 2.9倍

平成17年度(第3年次) 採択件数 8件 倍率 4.4倍(1件採択を次年度に持ち越し)

2年次(16年度採択)

	助成団体名	助成事業名	助成額
1	(特)アマモ種子バンク	市民によるアマモ場造成事業	600
2	(特)コムサロン21	沿道花かざり事業におけるアドプトプログラムサポート事業	600
3	(特)あかりの街ひめじ	地域でつくる安全・安心のあかり支援事業	600
4	(特)環境21の会	環境教育推進事業(実験を重視した子どもの環境教育)	600
5	(特)国際教育文化交流協会	留学生の参画による国際理解推進事業	600
	合計		3,000

平成16年度(第1年次) 申請件数 15件 採択件数 7件 倍率 2.1倍  
 平成17年度(第2年次) 申請件数 15件 採択件数 5件 倍率 3.0倍

1年次(17年度採択)

	助成団体名	助成事業名	助成額
1	(特)たんばぐみ	ボランティアと市民ファンドによる古民家再生事業	300
2	(特)宝塚NPOセンター	公共交通へのモーダルシフトを通じた環境配慮生活啓発事業	300
3	(特)ブレインヒューマニティー	不登校児童等の在宅学習支援のための教材作成事業	300
4	(特)シンフォニー	阪神なぎさ回廊「自然・人」交流復活推進事業	300
5	ひょうごんテック	コミュニティWeb サイト構築プロジェクト	300
6	(特)ドラマ丸鬼奔流で町おこしをする会	三田歴史観光の環境整備と保全	300
7	三田を知る会	団塊世代・いきいき楽農プロジェクト	300
8	(特)Art Produce & Management Network	兵庫こども小劇場	300
9	きららの森	猪名川の自然を食べる...自然教育プロジェクト	300
	合計		2,700

申請件数 14件 採択件数 9件 倍率 1.6倍

□ 行政・NPO協働事業助成(行政提案型)

	助成団体名 (行政協働先)	助成事業名 (団体提案事業名)	助成額
1	ウィメンズネット・こうべ (健康生活部少子局児童課)	シェルター入居者自立支援事業	300
2	姫新線ふれあい菜の花プロジェクト (県土整備部県土企画局交通政策担当)	JR姫新線を活かした県民交流事業 (姫新線ふれあい菜の花プロジェクト)	300
3	(特)ひょうご新林家21 (県土整備部住宅復興局住宅計画課)	NPO法人等による住宅リフォーム支援事業 (信頼のリフォームセミナー:住宅リフォーム相談とセミナー)	300
4	ワークシェア (県土整備部住宅復興局復興推進課)	SCS(高齢世帯生活援助員)等に対する実践的研修事業 (高齢世帯生活援助員研修事業)	300
5	(特)ひょうご被害者支援センター (警察本部警務部警務課被害者対策室)	犯罪被害者に対する直接支援要員の養成	300
	合計		1,500

申請件数 5件 採択件数 5件 倍率 1.0倍 (行政からの提案件数 8件 採択件数 5件 倍率 1.6倍)

□ 企業・NPO協働奨励事業

	奨励団体名	奨励事業名	助成額
1	(特)フードバンク関西	余剰食品の有効活用による福祉団体支援	300
2	(特)ピア・しんぐう	廃棄物原料と再資源を旨しての高齢者元気アップ支援事業 (「華のじょじょ」他「針仕事人」のリメイク・リフォームのオンリーワングッズの展示・販売)	300
3	(特)神戸まちづくり研究所	交通不便近郊団地での住民・NPO・行政・事業者協働開発のコミュニティバス運行	300
4	(特)シンフォニー	シニアITサポーター養成事業	300
5	(特)宝塚NPOセンター	阪神地域安心お助けネットWeb	300
	合計		1,500

申請件数 10件 採択件数 5件 倍率 2倍

□ 中間支援活動助成

	助成団体名	助成事業名	助成額
1	(特)コムサロン21	中間支援機能パワーアップ(相談機能の強化)	1,000
2	(特)神戸まちづくり研究所	市街地における商業団体・まちづくり団体・NPOのネットワーク促進	1,000
3	(特)市民活動センター神戸	NPOの政策提言力の開発にかかる調査研究とセミナー事業	1,000
4	(特)コミュニティ・サポートセンター神戸	企業のCSRと勤労者の地域活動・推進プロジェクト	1,000
5	(特)宝塚NPOセンター	NPO法人のキャパシティ・ビルディングを実現する会計相談事業	1,000
	合計		5,000

申請件数 14件 採択件数 5件 倍率 2.8倍

採択件数 : 53件	26,419
------------	--------

【平成18年度】

(単位：千円)

□ ボランティア活動支援拠点・NPO協働事業助成

助成団体名 (ボランティア活動支援拠点協働先)	助成事業名	助成額
1 宍粟市福祉支援ネットワーク連絡会 しそう作業所・NPOふれあいまつり実行委員会 (宍粟市社会福祉協議会)	しそうNPO・作業所ふれあいまつり	500
2 エコマネー緑ヶ丘推進会 (三木市社会福祉協議会)	時代にあった地域における共助の仕組みづくり	900
3 北播磨市民活動支援センター (小野市社会福祉協議会)	北播磨地域自然指導員育成事業	158
合計		1,558

申請件数 3件 採択件数 3件 倍率 1.0倍

□ 学生ボランティア活動助成

助成団体名	助成事業名	助成額
1 ウィズネイチャー	ホッパーズクラブとリーダー研修	50
2 関西福祉大学手話サークル「にじ」	ろう者について知ろう!	50
3 げんきっこ新在家プロジェクト	げんきっこ新在家プロジェクト「セカンドベース」	50
4 神戸学生ユニオン	スクールキッズパートナー派遣事業	50
5 神戸大学学生震災救援隊	大学間「災害救援ネット(仮)」構築事業	100
6 神戸大学総合ボランティアセンター	学生ボランティアの推進と地域社会のニーズへの対応	50
7 神戸大学どんぐりチーム	児童・青少年の発達のための「居場所」づくりのための大学生サポーターの育成	50
8 国際交流・国際協力支援団体CLUB GEORDIE	GEORDIEセミナー	34
9 だんごの会	次世代ボランティアリーダー育成プロジェクト	50
合計		484

申請件数 9件 採択件数 9件 倍率 1.0倍

□ 立ち上げ支援助成

2年次(17年度採択 家賃助成分)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 鞠ひといき	事務所家賃助成	150
2 でかけ隊	事務所家賃助成	180
3 鞠さんびいす	事務所家賃助成	205
4 鞠福祉市民ネット・川西	事務所家賃助成	274
合計		809

平成17年度(第1年次) 申請件数 10件 採択件数 7件 倍率 1.4倍 うち2件採択を辞退  
平成18年度(第2年次) 申請件数 3件 採択件数 4件 (17年度採択5件のうち1件は17年度中に事業完了)

1年次(18年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 鞠知恵の和	事務所家賃助成	275
2 鞠市民サポートセンター明石	事務所家賃助成	280
3 鞠姫路人権ネットワーク	事務所家賃助成	300
合計		855

申請件数 5件 採択件数 5件 倍率 1.0倍 (うち2件採択を辞退)

□ チャレンジ事業助成

2年次(17年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 鞠アップストリーム障がい者支援センター	小規模多機能なコミュニティレストランの設立	1,000
2 鞠市民事務局かわにし	地域における緊急課題/社会的ニーズに□すぐに役立つ□窓口事業 ～JR福知山線列車事故被害者(負傷者)支援窓口とつどい～	1,000
3 鞠愛逢	現在週3日の配食サービス(夕食)を毎日型(月～土)に拡大する	500
合計		2,500

平成17年度(第1年次) 申請件数 36件 採択件数 5件 倍率 7.2倍  
平成18年度(第2年次) 申請件数 3件 採択件数 3件 倍率 1.0倍

1年次(18年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 鞠サポートセンター木立	障がい者が働く「高齢者向け軽食・喫茶店」の経営	1,000
2 鞠生涯学習サポート兵庫	子どもの発達よろず相談屋	840
3 鞠さわやか北摂	地域緊急課題/地域の閉じこもりがちな高齢者の外出支援と社会参加を促す事業	1,000
4 鞠ケアット	障害者の地域就労を支援する□心と身体のケアマネジメント□事	1,000
5 鞠ブルービーンズショア	アートに出会う移動教室「ブルービーンズスクール」	500
6 鞠陽だまり	高齢者食事サービス事業	500
合計		4,840

平成18年度(第1年次) 申請件数 19件 採択件数 6件 倍率 3.2倍

□ インターン助成

助成者の所属団体 役職	受入先	助成額
1 (特)神戸まちづくり研究所 副理事長	日本太平洋資料ネットワーク(JPRN)	300
申請件数 4件 採択件数 1件 倍率 4.0倍		

□ 行政・NPO協働事業助成 (NPO提案型)

3年次 (16年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 (特)環境21の会	環境教育推進事業 (実験を重視した子どもの環境教育)	1,000
2 (特)国際教育文化交流協会	留学生の参画による国際理解推進事業	1,000
合計		2,000

平成16年度 (第1年次) 申請件数 15件 採択件数 7件 倍率 2.1倍  
 平成17年度 (第2年次) 採択件数 5件 倍率 3.0倍  
 平成18年度 (第3年次) 採択件数 2件 倍率 7.5倍 (2件採択を次年度に持ち越し)

2年次 (17年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 (特)たんばぐみ	ボランティアと市民ファンドによる古民家再生事業	600
2 (特)宝塚NPOセンター	公共交通へのモダリティを通じた環境配慮生活啓発事業	600
3 (特)シンフォニー	阪神なぎさ環境「人・自然」交流復活事業	600
4 (特)Art Produce & Management Network	こども創造シアターネット	600
5 きららの森	猪名川の自然を食べる...自然教育プロジェクト	450
合計		2,850

平成17年度 (第1年次) 申請件数 14件 採択件数 9件 倍率 1.6倍  
 平成18年度 (第2年次) 採択件数 5件 倍率 2.8倍

1年次 (18年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 (特)いちじま丹波太郎	学校給食への地元産農産物の供給と食育の推進	300
2 ウィメンズネット・こうべ	デートDV防止の出前講座開催事業	300
3 (特)上野丘さつき家族会	神戸市北区淡河町に「ゾーン・タクシーの運行」を目指して!	300
4 (特)生涯学習サポート兵庫	不登校・ひきこもり対象体験活動セミナー	300
5 (特)発達障害児療育センターしらゆり	保育所における発達障害児への指導・療育を支援する事業	300
6 (特)兵庫県技術士会	地域産業振興のための人材育成を目標とした中小企業のデータベース構築事業	300
7 (特)Casaメーコッコ	里親里子総合援助事業	300
合計		2,100

申請件数 17 採択件数 7件 倍率 2.4倍

□ 行政・NPO協働事業助成 (行政提案型)

助成団体名 (行政協働先)	助成事業名 (団体提案事業名)	助成額
1 (特)ソーシャル・デザイン・ファンド (県民政策部政策局ビジョン課)	「兵庫コミュニティ指標」(仮称)の作成に向けた検討 ～美しい兵庫指標の新展開～	300
2 ウィメンズネット・こうべ (健康生活部少子局児童課)	DV防止・被害者支援活動事業 (DV被害者支援事業)	300
3 (特)兵庫セルフセンター (健康生活部福祉局障害者支援課)	障害者の一般就労移行のための実践的モデル事業の実施 (障害者の一般就労移行のための実践的モデル事業)	300
4 (特)ひょうご地域防災サポート隊 (県土整備部県土企画局技術企画課)	風水害に対する防災知識の普及・啓発事業 (風水害等に対する防災知識の普及・啓発事業)	300
5 (特)ひょうご被害者支援センター (警察本部警務部警務課被害者対策室)	犯罪被害者等への直接支援と支援意識高揚のための広報活動の推進について	300
合計		1,500

申請件数 5件 採択件数 5件 倍率 1.0倍  
 (行政からの提案件数 5件 採択件数 5件 倍率 1倍)

□ 企業・NPO協働奨励事業

奨励団体名	奨励事業名	奨励額
1 (特)コムサロン21	2月2日夫婦感謝の日イベント	300
2 (特)生涯学習サポート兵庫	旅行と野外体験の合体 ～野外体験旅行の実施～	300
合計		600

申請件数 5件 採択件数 2件 倍率 2.5倍

□ 中間支援活動助成

助成団体名	助成事業名	助成額
1 (特)コムサロン21	播磨地域のネットワーク拠点づくり	1,000
2 (特)神戸まちづくり研究所	コミュニティ応援隊のためのスキルアップ研修事業	1,000
3 (特)宝塚NPOセンター	NPO法人の会計・労務これだけはやろう絶対に!事業	1,000
4 (特)コミュニティ・サポートセンター神戸	ひょうご・まちとりの生活アトリエネットワーク	1,000
5 (特)市民活動センター神戸	社会的価値を創造するNPOへの経営・起業相談ならびにその社会的共有化の事業	1,000
6 (特)シンフォニー	NPO情報リテラシー支援プログラム	1,000
7 (特)ひょうごセルフヘルプ支援センター	セルフヘルプグループリーダーによる相談支援体制の整備事業	500
合計		6,500

申請件数 14件 採択件数 7件 倍率 2.0倍

採択件数 : 57件	26,896
------------	--------

【平成19年度】

□ ボランティア活動支援拠点・NPO協働事業助成  
2年次（18年度採択）

（単位：千円）

助成団体名 (ボランティア活動支援拠点協働先)	助成事業名	助成額
1 エコマネー緑ヶ丘推進会 (三木市社会福祉協議会)	時代にあった地域における共助の仕組みづくり	900
2 特北播磨市民活動支援センター (小野市社会福祉協議会)	北播磨地域自然指導員育成事業	490
合計		1,390

平成19年度（第2年次） 申請件数 2件 採択件数 2件 倍率 1倍

1年次（19年度採択）  
申請件数 0件

□ 学生ボランティア活動助成

助成団体名	助成事業名	助成額
1 国際交流・国際協力支援団体 CLUB GEORDIE	国際交流セミナー□07	50
2 神戸キャンドルナイト実行委員会	100万人のキャンドルナイト2007 in KOBE	100
3 神戸大学総合ボランティアセンター	学生ボランティアの推進と地域社会のニーズへの対応	50
4 FLゆうゆう	不登校や発達障害等の子ども支援活動	50
合計		250

申請件数 4件 採択件数 4件 倍率 1倍

□ 立ち上げ支援助成

3年次（17年度採択 家賃助成分）

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特でかけ隊	事務所家賃助成	13
2 特さんびいす	事務所家賃助成	56
3 特福祉市民ネット・川西	事務所家賃助成	124
合計		193

平成17年度（第1年次） 申請件数 10件 採択件数 7件 倍率 1.4倍 うち2件採択を辞退  
平成18年度（第2年次） 採択件数 4件（17年度採択5件のうち1件は17年度中に事業完了）  
平成19年度（第3年次） 採択件数 3件（18年度採択4件のうち1件は18年度中に事業完了）

2年次（18年度採択）

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特知恵の和	事務所家賃助成	162
2 特市民サポートセンター明石	事務所家賃助成	150
3 特姫路人権ネットワーク	事務所家賃助成	150
合計		462

平成18年度（第1年次） 申請件数 5件 採択件数 5件 倍率 1倍（うち2件採択を辞退）  
平成19年度（第2年次） 申請件数 3件 採択件数 3件 倍率 1倍

1年次（19年度採択）

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特ピースヘルプ協会	事務所家賃助成	300
2 特まどか	事務所家賃助成	300
3 特いえしま	事務所家賃助成	300
4 特コミュニティ事業支援ネット	事務所家賃助成	300
5 特わだち	事務所家賃助成	175
6 特ウィズネイチャー	事務所家賃助成	298
合計		1,673

申請件数 7件 採択件数 6件 倍率 1.2倍

□ チャレンジ事業助成

2年次（18年度採択）

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特サポートセンター木立	障がい者が働く「高齢者向け軽食・喫茶店」の経営	1,000
2 特生涯学習サポート兵庫	子どもの発達よろず相談屋	1,000
3 特さわやか北摂	地域緊急課題/地域の閉じこもりがちな高齢者の外出支援と社会参加を促す事業	1,000
4 特ケアット	障害者の地域就労を支援する□心と身体のケアマネジメント□事業	1,000
5 特ブルービーンズジョア	アートに出会う移動教室「ブルービーンズスクール」	500
6 特陽だまり	高齢者食事サービス事業	500
合計		5,000

平成18年度（第1年次） 申請件数 19件 採択件数 6件 倍率 3.2倍  
平成19年度（第2年次） 申請件数 6件 採択件数 6件 倍率 1倍

1年次（19年度採択）

助成団体名	助成事業名	助成額
1 パソコン活用隊	地域貢献活動団体向けパソコン活用支援事業	1,000
2 特ふぉーらいふ	不登校・ひきこもりの青少年等の「食育」から始まる社会参加プログラム	1,000
3 特さんびいす	在宅ワークを柱とした、母親達へのリ・チャレンジ支援事業	1,000
4 特つどい場さくらちゃん	認知症介護者のリフレッシュと介護予防・介護学習及び認知症高齢者家庭への見守り派遣・外出支援	500
5 特男女共同参画ネット尼崎	尼崎地域子育て支援キーステーション事業	1,000
合計		4,500

平成19年度（第1年次） 申請件数 8件 採択件数 5件 倍率 1.6倍

□ インターン助成

助成者の所属団体 役職	受入先	助成額
1 特たかとりコミュニティーセンター事務局員	リージェント・パーク・フォーカス・ユース・メディア・アート・センター（カナダ）	300

申請件数 4件 採択件数 1件 倍率 4倍

□ 行政・NPO協働事業助成（NPO提案型）

3年次（16、17年度採択）

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特宝塚NPOセンター	公共交通へのモダリティを通じた環境配慮生活啓発事業	1,000
2 特シンフォニー	阪神なぎさ環境「人・自然」交流復活事業	436
3 きららの森	猪名川の自然を食べる…自然教育プロジェクト	1,000
4 特コムサロン21（16年度採択）	ひょうごアドプト中間機関	1,000
合計		3,436

平成17年度（第1年次） 申請件数 14件 採択件数 9件 倍率 1.6倍  
 平成18年度（第2年次） 採択件数 5件 倍率 2.8倍  
 平成19年度（第3年次） 採択件数 3件 倍率 4.7倍（16年度採択団体を除く）  
 （1件採択を次年度に持ち越し）

2年次（18年度採択）

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特いちじま丹波太郎	学校給食への地元産農産物の供給と食育の推進	500
2 ヴィメンズネット・こうべ	デートDV防止の出前講座開催事業	600
3 特上野丘さつき家族会	神戸市北区淡河町に「ゾーン・タクシーの運行」を目指して！	600
4 特生涯学習サポート兵庫	不登校・ひきこもり対象体験活動セミナー	600
5 特発達障害児療育センターしらゆり	保育所における発達障害児口への指導・療育を支援する事業	600
6 特兵庫県技術士会	地域産業振興のための人材育成を目標とした中小企業のデータベース構築事業	600
合計		3,500

平成18年度（第1年次） 申請件数 17 採択件数 7件 倍率 2.4倍  
 平成19年度（第2年次） 採択件数 6件 倍率 2.8倍

1年次（19年度採択）

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特ひょうご地域防災サポート隊	地域コミュニティの防災力向上に関する事業	300
2 特姫路市介護サービス第三者評価機構	姫路市・介護サービス改善協議会の設立と運営	300
3 特びっぴ	NPO、認可外保育施設、行政の連携による発達支援ネットワーク（仮称）と地域における親子支援体制づくり事業	300
4 特ブレインヒューマニティー	地域課題解決のための学生による政策提言事業「ひょうご未来塾」	244
5 特宝塚NPOセンター	兵庫県・わかもの就労支援ネットワーク構築事業	300
6 特市民事務局かわにし	～NPOと行政で取り組む～川西市におけるNPO・市民活動団体の情報収集と発信のシステムづくり	300
7 特ジャパンフルートオーケストラソサエティ	「たのしい たのしい うたのまち」プロジェクト	300
合計		2,044

申請件数 18 採択件数 7件 倍率 2.6倍

□ 行政・NPO協働事業助成（行政提案型）

助成団体名 （行政協働先）	助成事業名 （団体提案事業名）	助成額
1 特阪神高齢者・障害者支援ネットワーク （健康生活部 生活企画局 健康福祉政策課）	在宅ターミナルケアネットワーク形成事業	252
2 特ソーシャル・デザイン・フアンド （県土整備部 県土企画局 技術企画課）	「口美しい県づくり口パートナー制度」検討及び創設支援事業 ～県民主体の「ひょうごアドプト」の推進～	300
3 特ほっとネット373 （西播磨県民局 企画調整部 地域づくり課）	体験・交流型施設ガイドブックによる県際地域活性化事業	300
合計		852

申請件数 5件 採択件数 3件 倍率 1.7倍  
 （行政からの提案件数 3件 採択件数 3件 倍率 1倍）

□ 行政・NPO協働事業助成（行政提案型 特別事業）

助成団体名	助成事業名 （行政協働先）	助成額
1 特しゃらく	団塊世代等地域づくり活動きっかけづくり支援事業 （県民政策部地域協働局参画協働課）	500
2 特明石NPOセンター		500
3 特シンフォニー		500
4 特ASUネット		500
5 特阪神高齢者・障害者支援ネットワーク		402
6 特場とつながりの研究センター		450
合計		2,852

申請件数 10件 採択件数 6件 倍率 1.7倍

□ 企業・NPO協働奨励事業

奨励団体名	奨励事業名	奨励額
1 特環境21の会	太陽光発電・屋上緑化・炭の普及啓発	300
2 特さんびいす	働く母親への就労支援 地域のリソースを活用して企業内保育所をつくる事業	300
3 特市民事務局かわにし	「市場」（マーケット）で「勝負！」する商品づくりプロジェクト～福祉系作業所とアート専門学校とのコラボレーション～	300
4 特女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ	民間シェルターへの物品提供事業	300
5 特たかとりコミュニティセンター	多文化な子どもたちによる表現活動「Re:C」	300
合計		1,500

申請件数 14件 採択件数 5件 倍率 2.8倍

□ 中間支援活動助成

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特宝塚NPOセンター	「中間支援としての支援のあり方実態調査」事業	1,000
2 特コミュニティサポートセンター神戸	指定管理者制度の実態調査～兵庫から発信する新たなモデル～	1,000
3 特明石NPOセンター	東播磨の支援機能整備～市民団体掘り起こし事業～	1,000
4 特コムサロン21	NPO法人の労務管理に関する研究	1,000
5 兵庫県日本語ボランティアネットワーク	兵庫県内の地域日本語教室の連携のためのガイドブック	800
6 ひょうごんテック	NPOの団体運営におけるオープンソース・ソフトウェア活用の実証実験	615
合計		5,415

申請件数 11件 採択件数 6件 倍率 1.8倍

採択件数	： 67件	33,367
------	-------	--------

【平成20年度】

□ ボランティア活動支援拠点・NPO協働事業助成

(単位：千円)

助成団体名 (ボランティア活動支援拠点協働先)	助成事業名	助成額
該当なし		0
申請件数 1件 採択件数 0件 倍率 倍		

□ 学生ボランティア活動助成

助成団体名	助成事業名	助成額
1 棚田 LOVER'S	棚田でのボランティア活動促進事業	100
2 神戸大学総合ボランティアセンター	学生ボランティアの推進と地域社会のニーズへの対応	50
合計		150
申請件数 3件 採択件数 2件 倍率 1.5倍		

□ 立ち上げ支援助成

3年次(18年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特知恵の和	事務所家賃助成	13
平成18年度(第1年次) 申請件数 5件 採択件数 5件 倍率 1.0倍 うち2件採択を辞退		
平成19年度(第2年次) 申請件数 3件 採択件数 3件 倍率 1.0倍		
平成20年度(第3年次) 申請件数 1件 採択件数 1件 倍率 1.0倍		

2年次(19年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特わだち	事務所家賃助成	212
2 特ピースヘルプ協会	事務所家賃助成	150
3 特いえしま	事務所家賃助成	150
4 特コミュニティ事業支援ネット	事務所家賃助成	150
5 特ウィズネイチャー	事務所家賃助成	150
合計		812
平成19年度(第1年次) 申請件数 7件 採択件数 6件 倍率 1.2倍		
平成20年度(第2年次) 申請件数 5件 採択件数 5件 倍率 1.0倍 (1件は2年次申請辞退)		

1年次(20年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特メリーポピンズの会	事務所家賃助成	300
申請件数 3件 採択件数 2件(1件辞退) 倍率 1.5倍		

□ チャレンジ事業助成

2年次(19年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 パソコン活用隊	地域貢献活動団体向けパソコン活用支援事業	1,000
2 特ふおーらいふ	不登校・ひきこもりの青少年等の「食育」から始まる社会参加プログラム	1,000
3 特男女共同参画ネット尼崎	尼崎地域子育て支援キーステーション事業	1,000
4 特さんびいす	在宅ワークを柱とした、母親達へのリ・チャレンジ支援事業「ペルル」	1,000
合計		4,000
平成19年度(第1年次) 申請件数 8件 採択件数 5件 倍率 1.6倍		
平成20年度(第2年次) 申請件数 4件 採択件数 4件 倍率 1.0倍		

1年次(20年度採択)

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特実用日本語教育推進協会	日本語を核とした新しい形の「国際交流サロン」事業	1,000
2 幼児サークル フルーツバスケット	兵庫県の地域限定の子育てSNSの構築事業	1,000
3 NPO法人 ベースボールスピリッツ	人も心も動く地域交流・人づくり事業	1,000
合計		3,000
申請件数 6件 採択件数 3件 倍率 2.0倍		

□ インターン助成

助成者の所属団体 役職	受入先	助成額
1 特但馬未来工房 事務局長	都市創造研究所	150
申請件数 1件 採択件数 1件 倍率 1.0倍		



□ 行政・NPO協働事業助成（NPO提案型）

3年次（18年度採択）

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特いちじま丹波太郎	学校給食への地元産農産物の供給と食育の推進	1,000
2 (NPO法人)ウィメンズネット・こうべ	デートDV防止出張授業開催事業	1,000
3 特上野丘さつき家族会	神戸市北区淡河町に「ゾーン・タクシーの運行」を目指して!	1,000
4 特生涯学習サポート兵庫	不登校・ひきこもり対象体験活動セミナー	1,000
5 特発達障害児療育センターしらゆり	保育所における発達障害児への指導・療育を支援する事業	1,000
6 特兵庫県技術士会	地域産業振興を目的とした、工業系の学校のインターンシップ支援のための情報提供事業	1,000
合 計		6,000

平成18年度（第1年次） 申請件数 17件 採択件数 7件 倍率 2.4倍  
 平成19年度（第2年次） 採択件数 6件 倍率 2.8倍  
 平成20年度（第3年次） 採択件数 7件（⑩採1件） 倍率 2.8倍

2年次（19年度採択）

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特ひょうご地域防災サポート隊	地域コミュニティの防災力向上に関する事業	600
2 特姫路市介護サービス第三者評価機構	姫路市・介護サービス改善協議会の設立と運営	600
3 特びっぴ	NPO、認可外保育施設、行政の連携による発達支援ネットワーク（仮称）と地域における親子支援体制づくり事業	600
4 特ブレンヒューマニティー	地域課題解決のための学生による政策提言事業「ひょうご未来塾」	464
5 特宝塚NPOセンター	兵庫県・わかもの就労支援ネットワーク構築事業	600
6 特市民事務局かわにし	～NPOと行政で取り組む～ 川西市におけるNPO・市民活動団体の情報収集と発信のシステムづくり	600
合 計		3,464

平成19年度（第1年次） 申請件数 18件 採択件数 7件 倍率 2.6倍  
 平成20年度（第2年次） 採択件数 6件 倍率 3.0倍

1年次（20年度採択）

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特さんびいす	野外活動の配信システムを活用した流域連携ネットワークの強化と参画協働の促進	300
2 特しやらく	IT、中間支援機能を活用したニートのインターンシップ受け入れ事業	300
3 特福祉市民ネット・川西	川西地域を「認知症の人も安心して暮らせるまちに！」運動	300
4 特市民サポートセンター明石	通常学級内にいる特別なニーズがある子どもへの学習サポーター派遣事業	300
5 兵庫日本語ボランティアネットワーク	兵庫県内の企業等で働く外国人労働者およびその家族への日本語学習支援システムおよび生活支援システムの構築	300
合 計		1,500

申請件数 6件 採択件数 5件 倍率 1.2倍

□ 行政・NPO協働事業助成（行政提案型）

助成団体名	助成事業名 （行政協働先）	助成額
1 特ネットワーク 太子の風	団塊世代等地域づくり活動きっかけづくり支援事業 （企画県民部県民文化局地域協働課）	500
2 特阪神高齢者・障害者支援ネットワーク		500
3 特シンフォニー		500
4 特コムサロン21		500
合 計		2,000

申請件数 6件 採択件数 4件 倍率 1.5倍

□ 企業・NPO協働奨励事業

奨励団体名	奨励事業名	奨励額
1 特コミュニティ・サポートセンター神戸	公文グループ企業とNPOとのネットワーク・コラボレーション展開による地域の高齢者を対象にした認知症予防事業	300
2 特兵庫セルフセンター	リリー・ハンズ・&ハーツ・バザー	500
合 計		800

申請件数 3件 採択件数 2件 倍率 1.5倍

□ 中間支援活動助成

助成団体名	助成事業名	助成額
1 特コミュニティ・サポートセンター神戸	NPO等の中期的な計画づくりに向けたアドバイザー活動（必須事業） その他の中間支援活動（選択事業）	1,000
2 特コムサロン21		1,000
3 特市民活動センター神戸		1,000
4 特市民事務局かわにし		1,000
5 特宝塚NPOセンター		1,000
6 特シンフォニー		1,000
7 特明石NPOセンター		1,000
合 計		7,000

申請件数 7件 採択件数 7件 倍率 1.0倍

採択件数	： 47件	29,189
------	-------	--------

## 平成21年度ひょうごボランティア基金助成事業報告書

平成22年12月発行

編集・発行：ひょうごボランティアプラザ（兵庫県社会福祉協議会）

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町 1-1-3

神戸クリスタルタワー 6階

TEL：078-360-8845

FAX：078-360-8848

URL：<http://www.hyogo-vplaza.jp/>